

三浦市地域福祉計画（第5期）

（素案）

地域福祉に関する市民アンケート 調査結果

目 次

I	調査概要	4
1.	調査目的	4
2.	調査対象者及び回収状況	4
II	集計結果	5
1.	調査対象者の基本情報について（Q 1）	5
2.	福祉の施策上の課題について（Q 2～Q11）	11
3.	地域での協力関係や暮らしについて（Q12～Q17）	23
4.	地域活動について（Q18～23）	31
5.	ボランティア活動について（Q24～Q29）	38
6.	福祉に関する意見について（Q30）	45

I 調査概要

1 調査目的

この調査は、令和7年度を始期とする三浦市地域福祉計画（第5期）を策定するために、複雑化・多様化する地域における福祉課題や地域福祉の推進に係る市民ニーズなどを把握するために実施するものである。

2 調査対象者及び回収状況

（1）調査対象者（住民基本台帳から無作為抽出）

令和5年10月1日現在 18歳以上の市民1,500人

【地区別】

三崎地区	606人
南下浦地区	518人
初声地区	376人

（2）回収状況

回収数 637人

回収率 42.47%

（3）調査期間

令和5年11月16日から令和5年12月15日まで

（4）調査方法

郵送による配布・回収

3 その他

図表中の「回答数」は、各設問に対して、未記入も含む回答数の総数です。

各設問の回答率（%）は、「各項目の回答数／各設問の回答数」で算出しています。

回答率は、小数点第二位で四捨五入して表記しているため、各項目の合計が100%にならない場合があります。

各設問の解説欄にある「前回」は、5年前に実施したアンケート結果です。

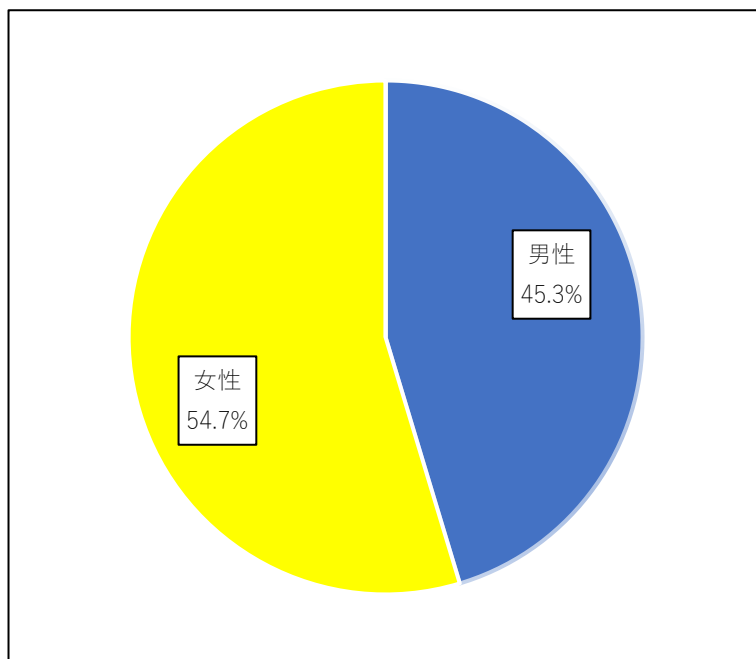
Ⅱ 集計結果

1. 調査対象者の基本情報について

Q 1 回答いただく方についておたずねします。

(1) あなたの性別は（○をひとつだけ記入してください）

【回答数：637 件】



【参考】

令和 5 年 10 月 1 日現在の三浦市全体の
状況

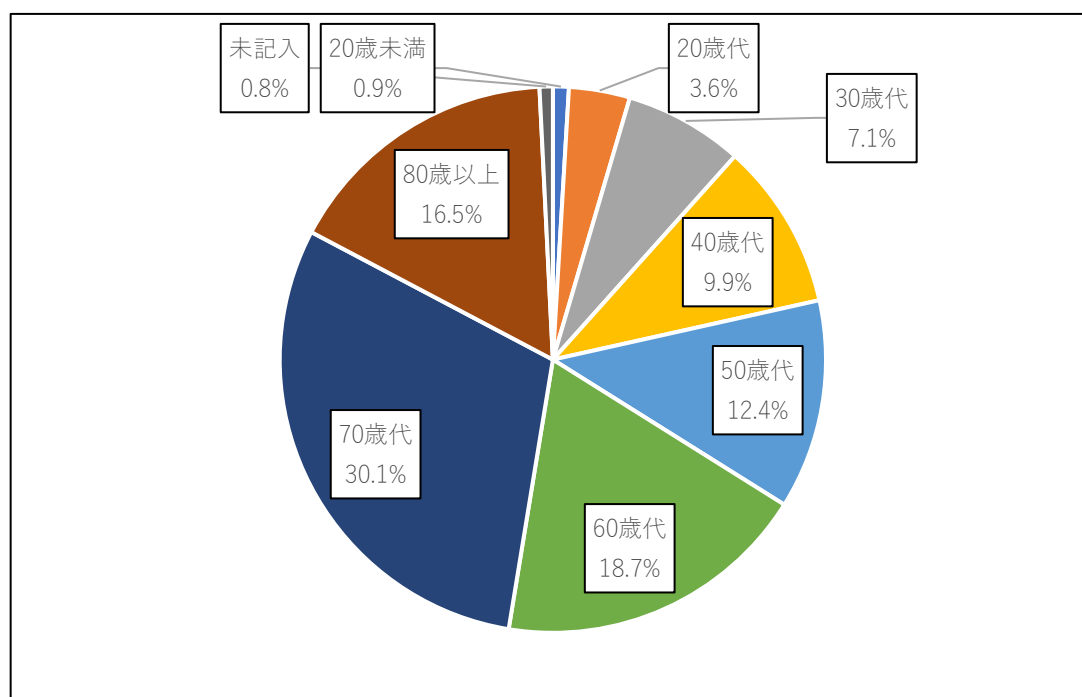
人口 40,306 人

男性 19,226 人 (47.7%)

女性 21,080 人 (52.3%)

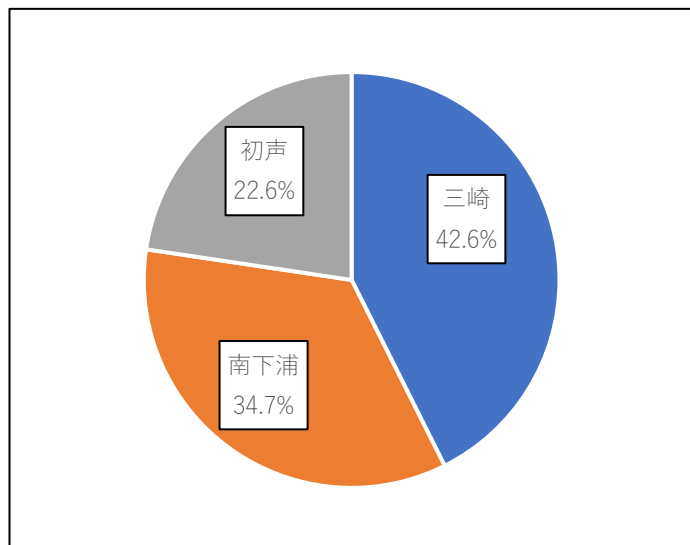
(2) あなたの年齢は（数字でご記入ください）

【回答数：637 件】



(3) あなたの居住地を教えてください。(〇をひとつだけ記入してください)

【回答数：637 件】



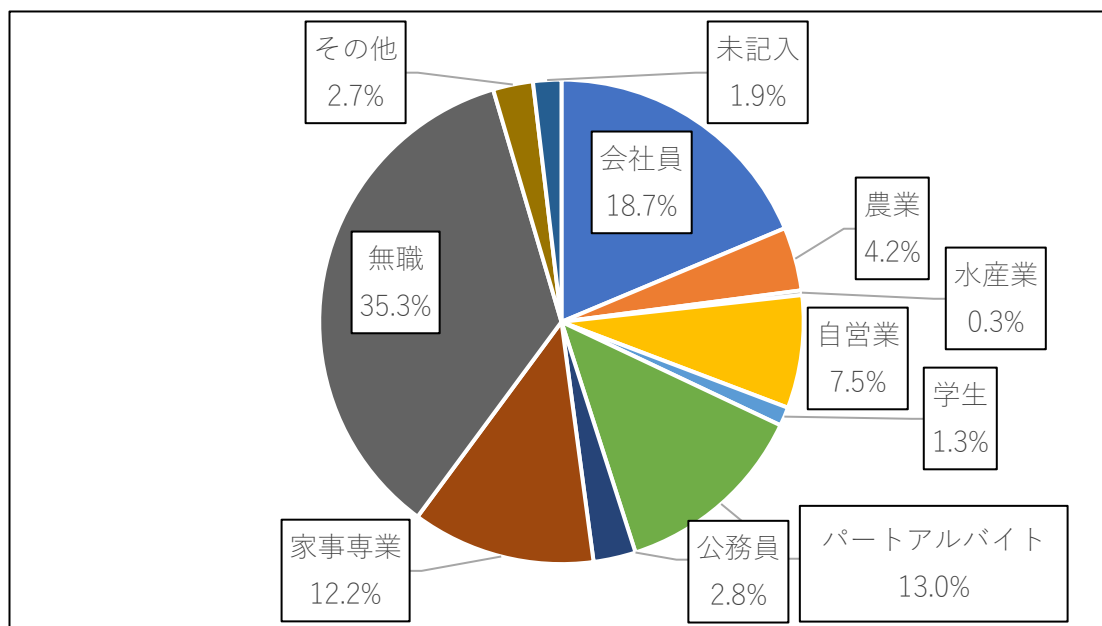
【参考】

令和5年10月1日現在の三浦市全体の状況

三崎地区	15,865人 (39.3%)
南下浦地区	14,537人 (36.1%)
初声地区	9,904人 (24.6%)

(4) あなたの主な職業を教えてください。(1つ選んで番号を記入してください)

【回答数：637 件】

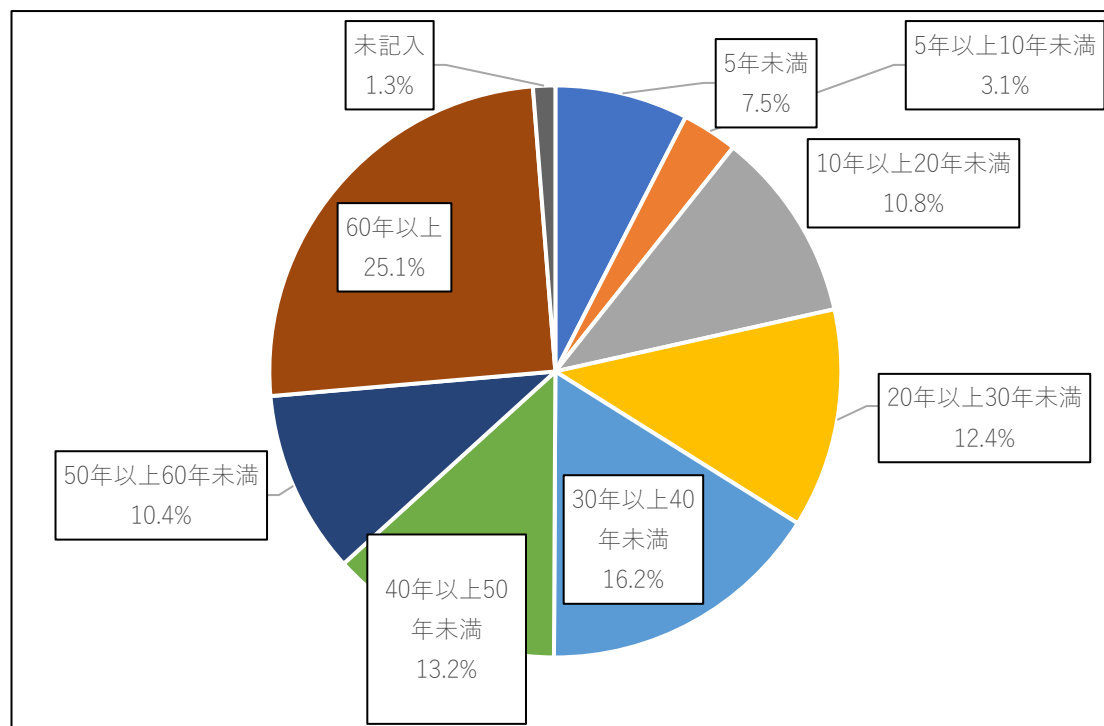


- ・「無職」と「家事専業」を合わせると 47.5% となり、約半数が職についていない状況です。前回より 2 ポイント増加しています。
- ・「会社員」、「農業」、「水産業」、「自営業」、「パートアルバイト」、「公務員」を合わせると 46.5% です。勤務地は、「市内」が 51.5% です。
- ・前回と比べ「会社員」は 0.2 ポイント減少し、勤務地は、「市外」が 70.6% となり、前回と比べ 0.1 ポイント減少しています。

(5) 三浦市には何年ぐらい住んでいますか。

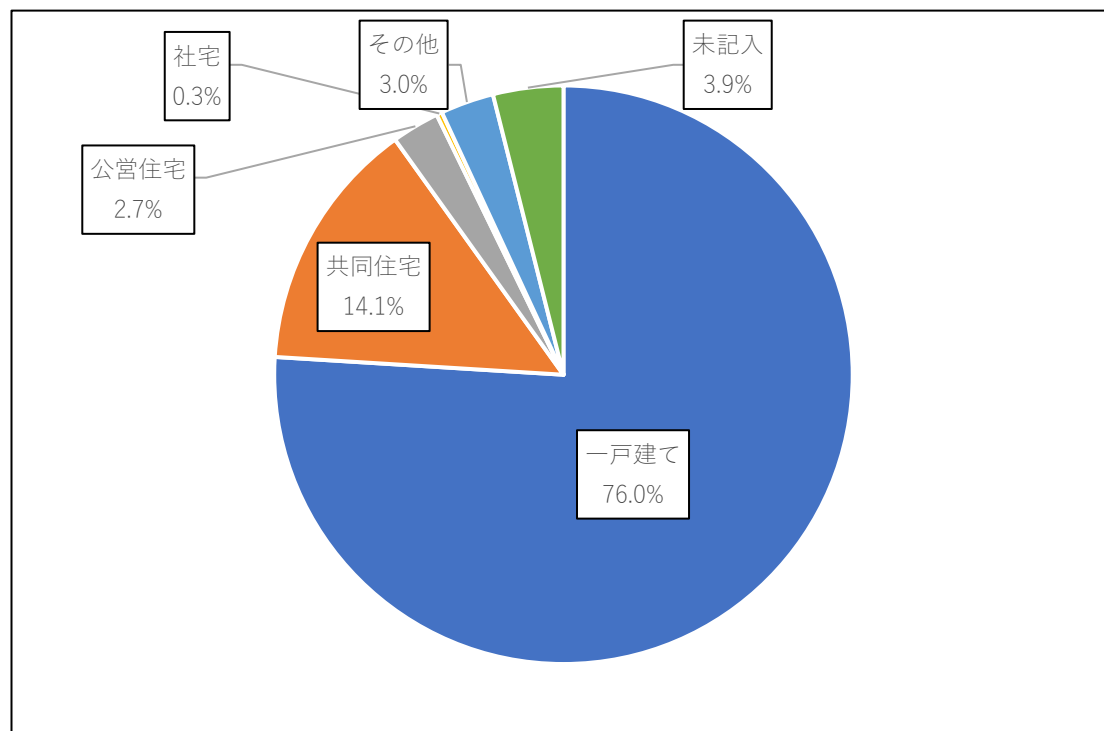
(1つ選んで番号を記入してください)

【回答数：637 件】



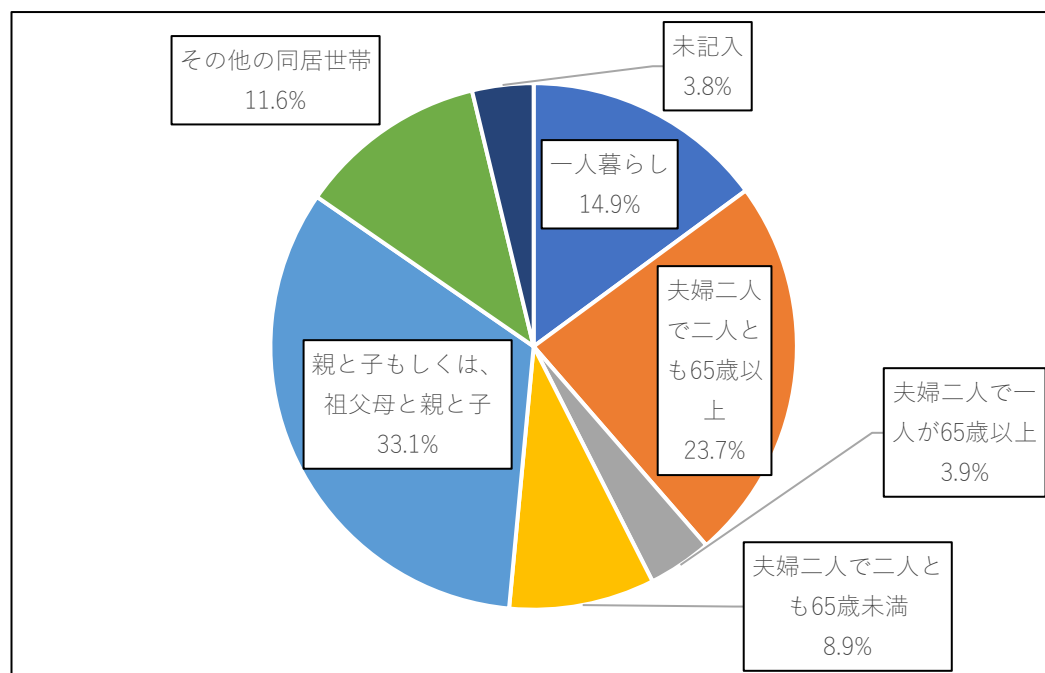
(6) 現在お住まいの形態は (1つ選んで番号を記入してください)

【回答数：637 件】



(7) 現在お住まいの家族構成について（１つ選んで番号を記入してください）

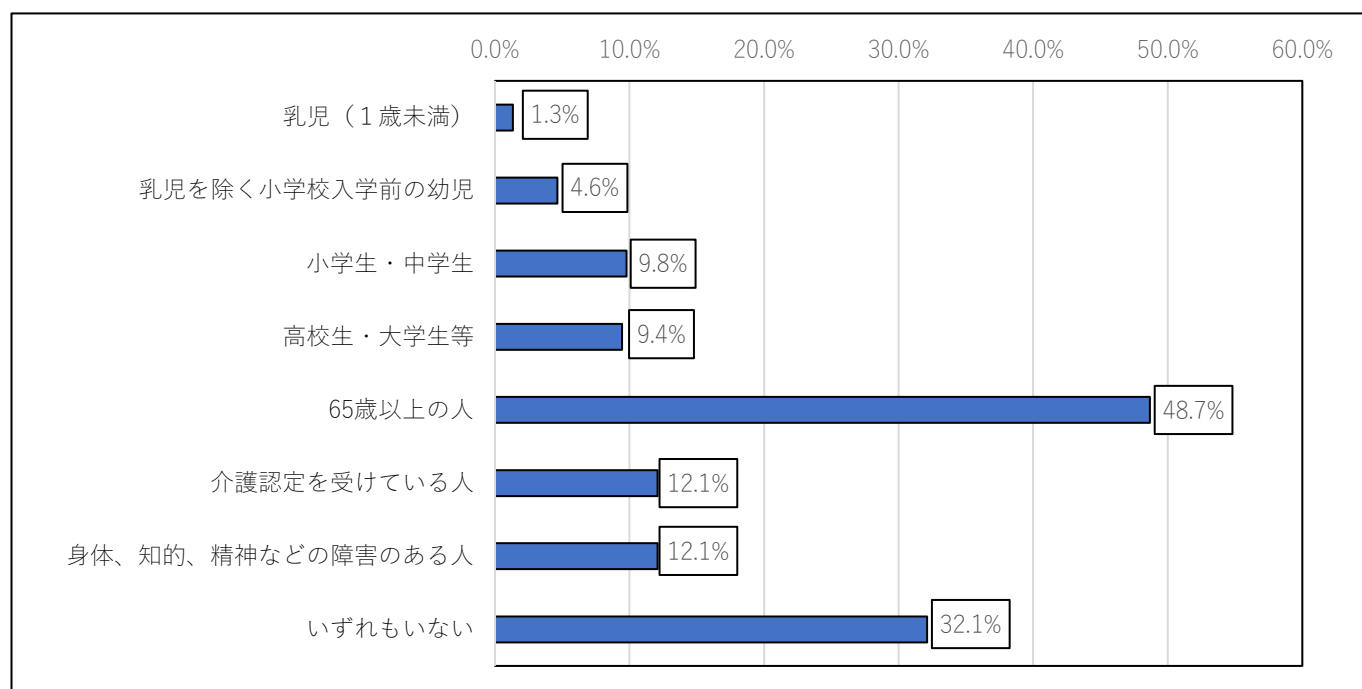
【回答数：637 件】



(8) 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、

次のような人はいますか。（7つ以内で選んで番号を記入してください）【回答数：637 件】

【今回からの新しい設問】

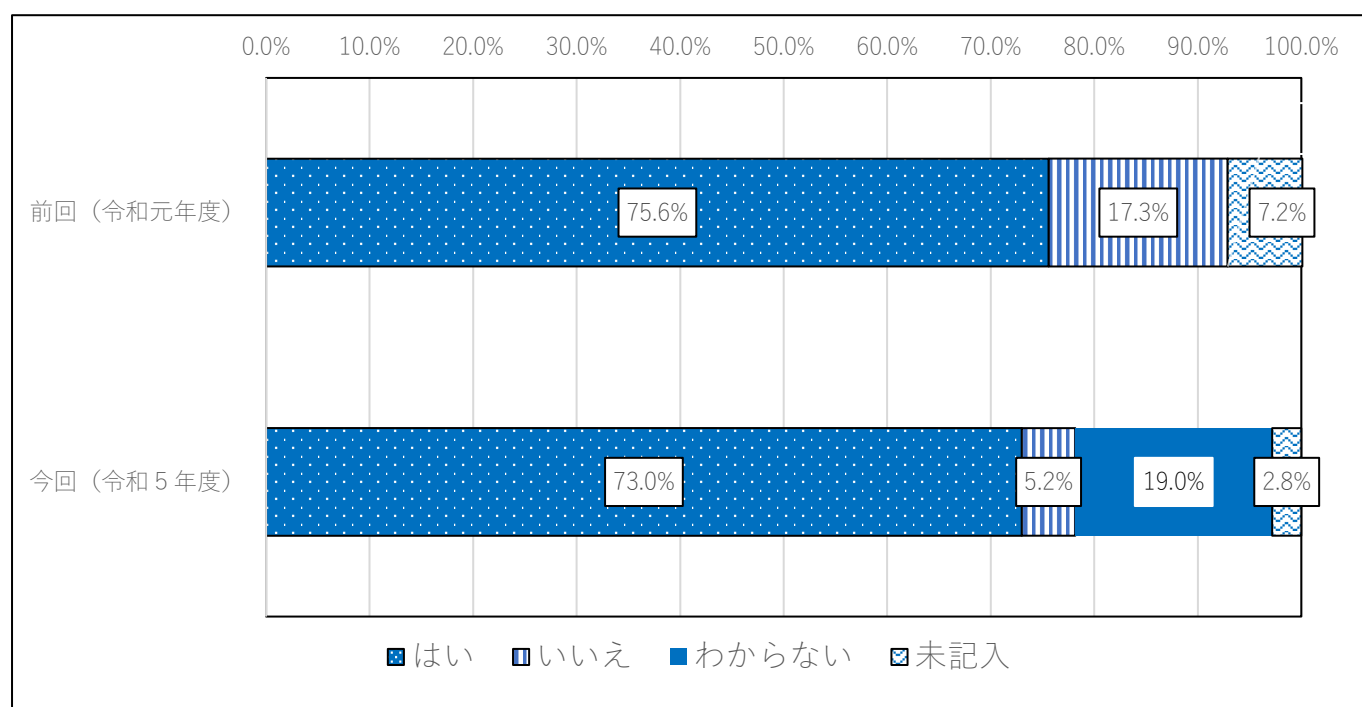


(9) 現在お住まいの地域にこのまま住み続けたいですか。

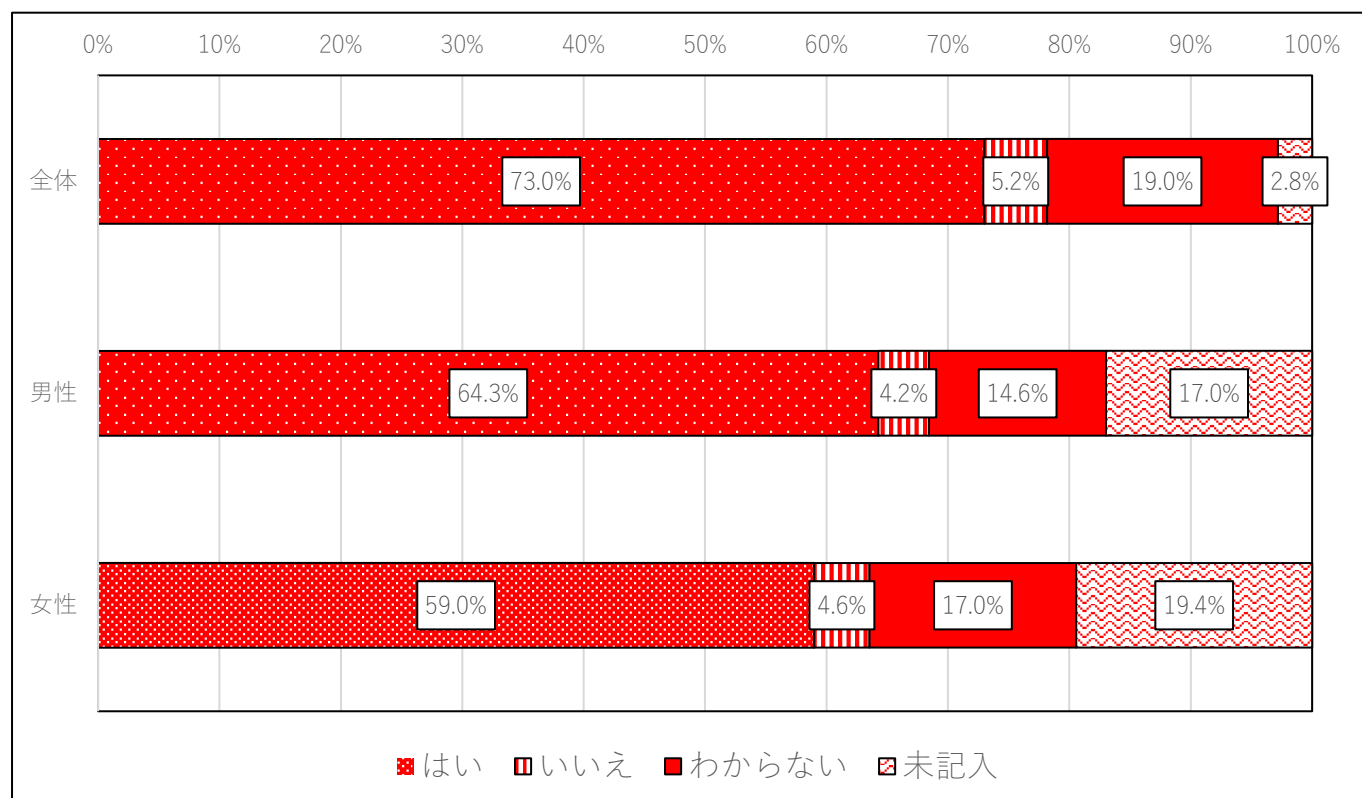
(○をひとつだけ記入してください)

【回答数：637 件】

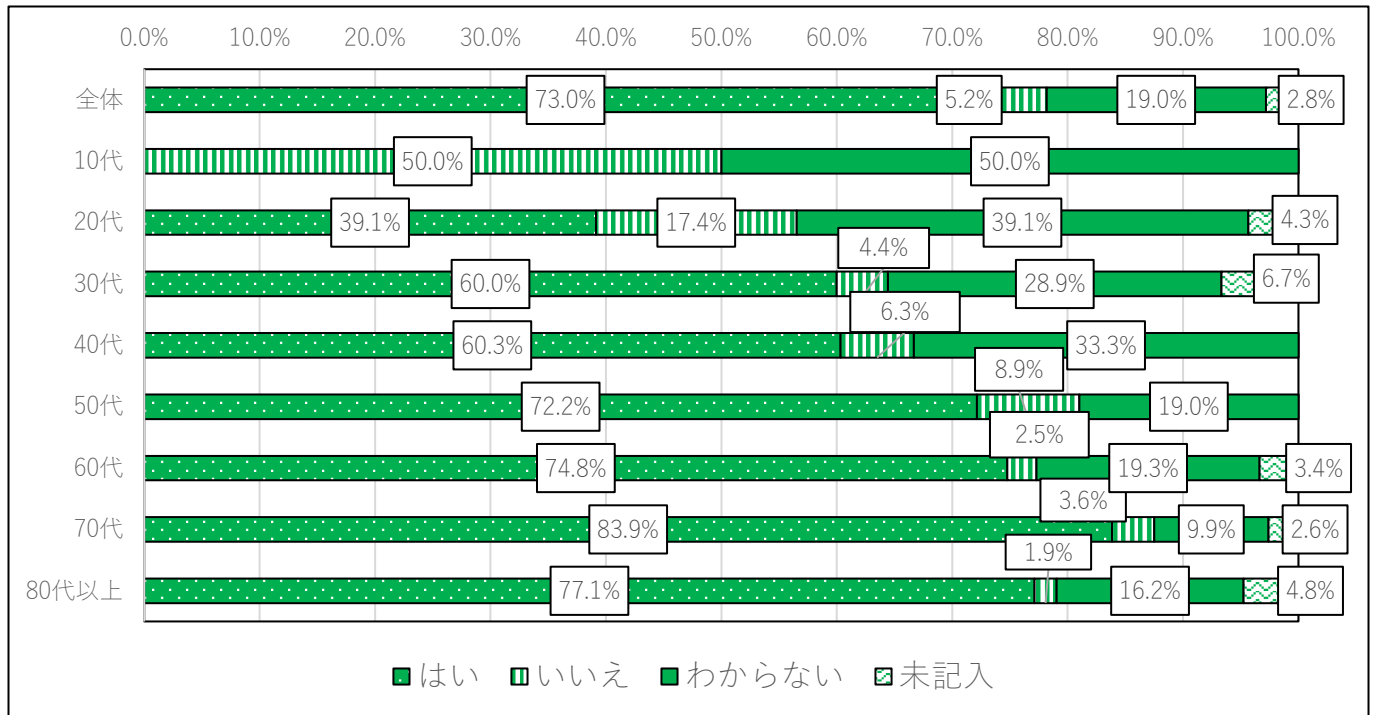
(※) 回答の「わからない」は今回から追加された回答項目です



【(性別) 比較】



【(年代) 比較】



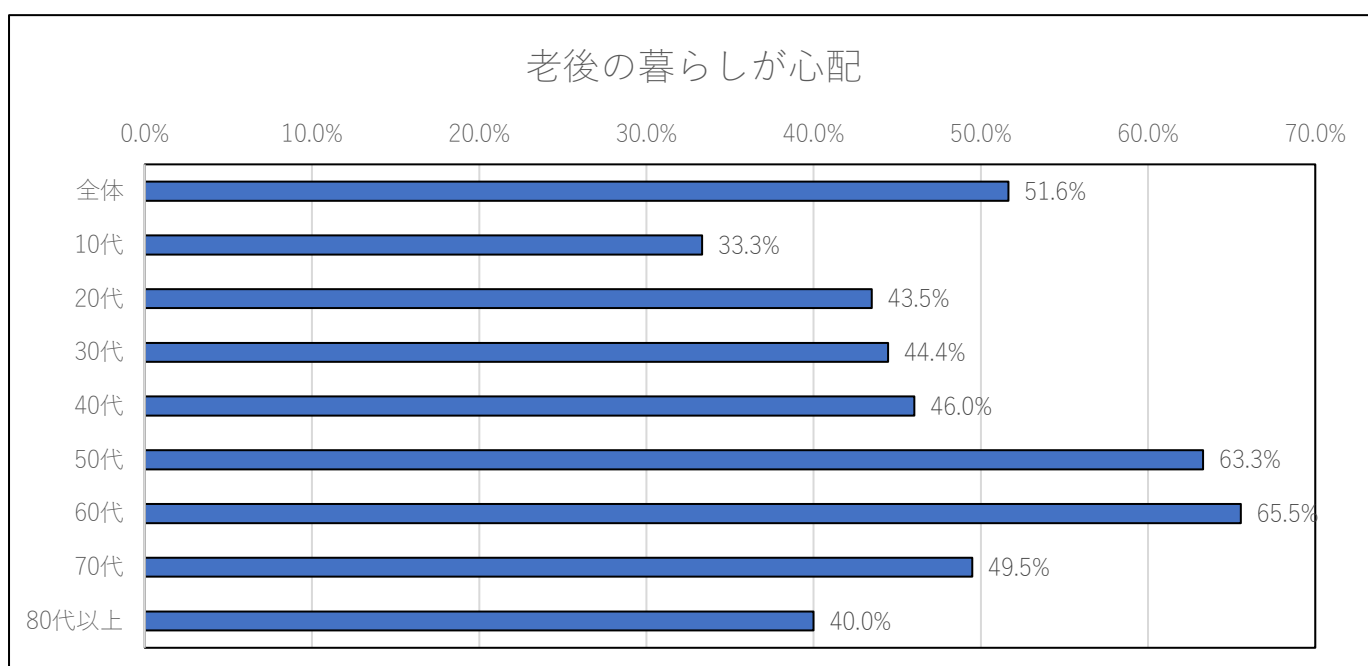
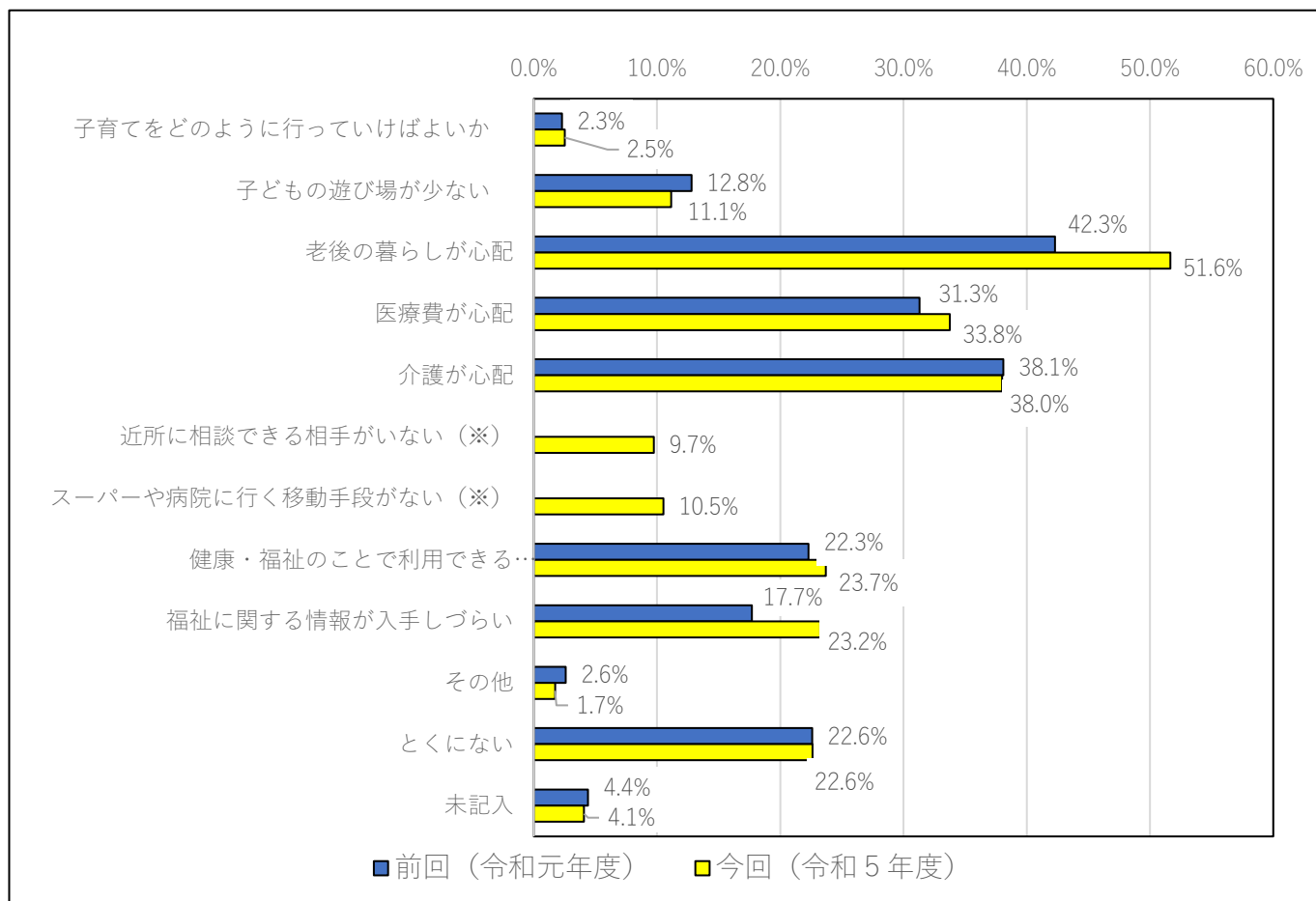
- ・前回と比べ「住みたい」が2.6ポイント減少しています。
- ・女性より男性が5.3ポイント多く「住みたい」と回答しています。
- ・年齢別でみると、20歳未満で「住みたい」と回答している人はいませんでした。
- ・50代以上の7割以上が「住みたい」と回答しています。

2. 福祉の施策上の課題について

Q2 今、福祉に関することで何か困っていることまたは悩んでいることがありますか。(10 つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数：637 件】

(※) は今回から追加した回答項目です。



【Q2】

- ・前回と同様「老後」「医療費」「介護」が上位を占めています。特に「老後」が前回よりも9.3ポイント高くなっています。
- ・この項目を年代別に比較すると50代が全体よりも11.7ポイント、60代が13.9ポイント高い傾向にあります。

【その他（主な意見）】

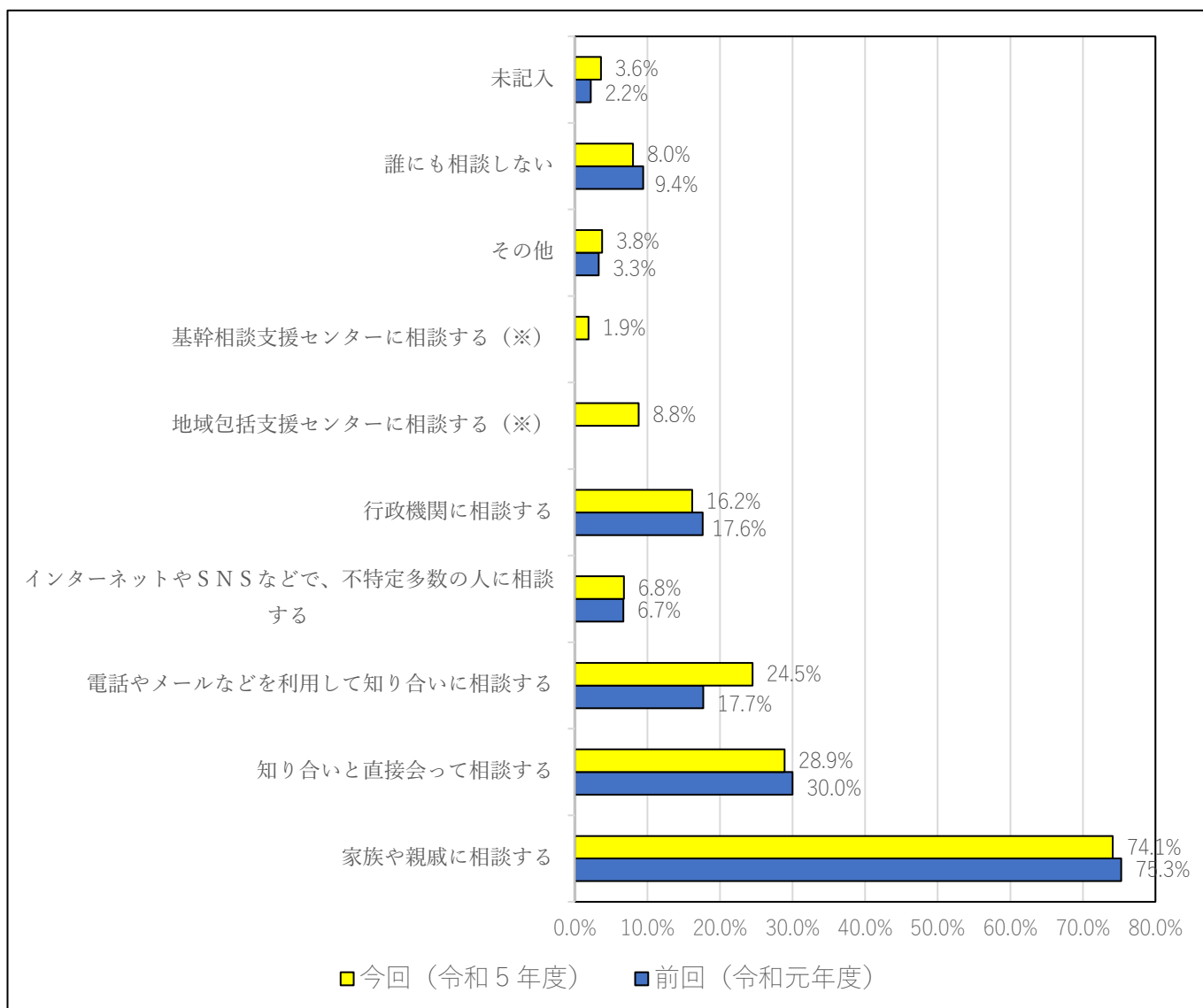
- ・文化施設が乏しい
- ・療育関係の情報・施設がない
- ・小児科がない。

Q3 困ったときや悩んだときに、どのような方法で相談していますか。

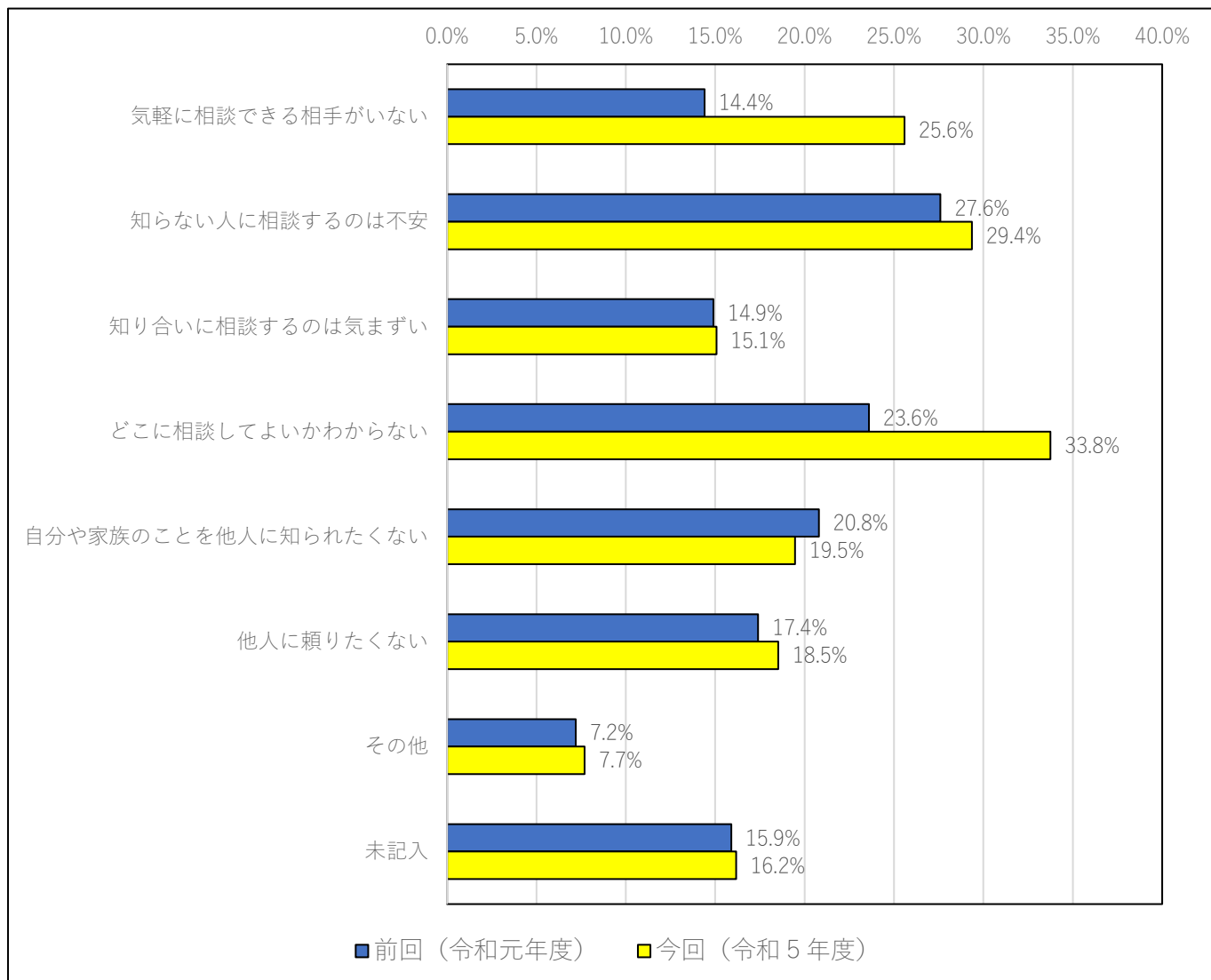
（8つ以内で選んで番号を記入してください）

（※）は今回から追加した回答項目です。

【回答数：637件】



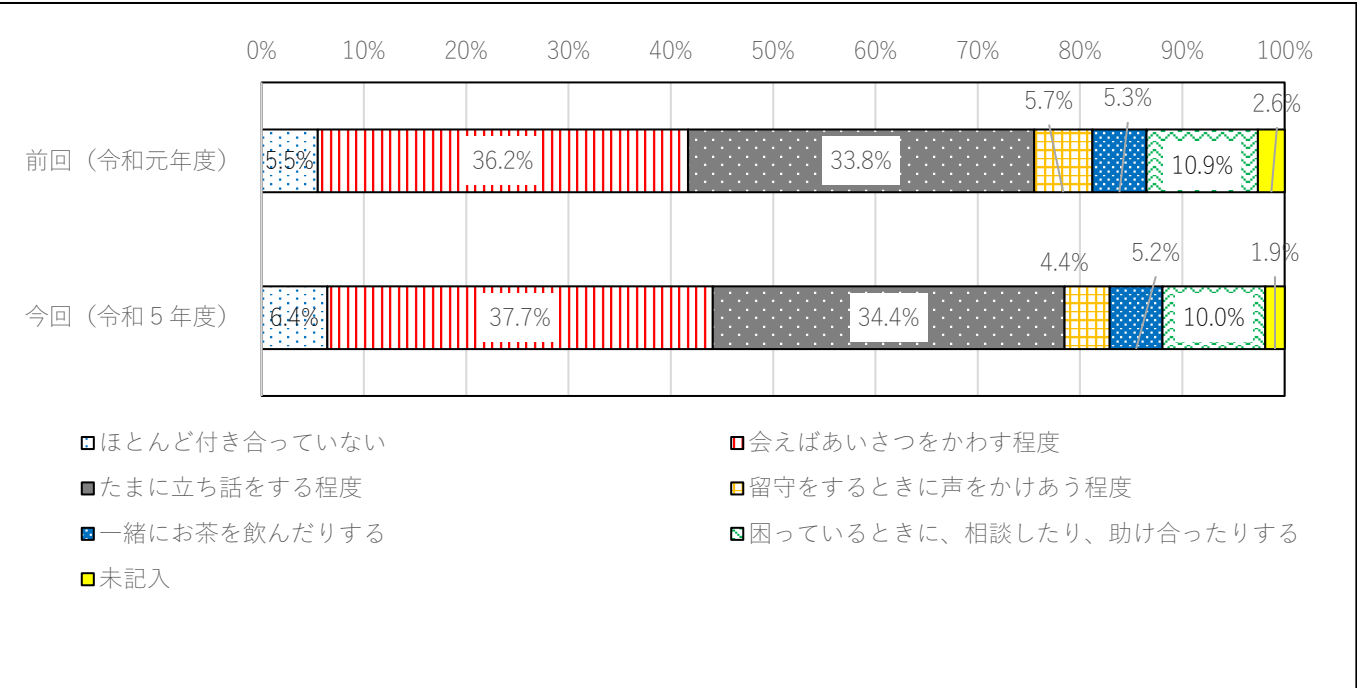
Q 4 困ったときや悩んだときに、相談がしづらくなることがあるとしたら、その理由は何ですか。（7つ以内で選んで番号を記入してください） 【回答数：637 件】



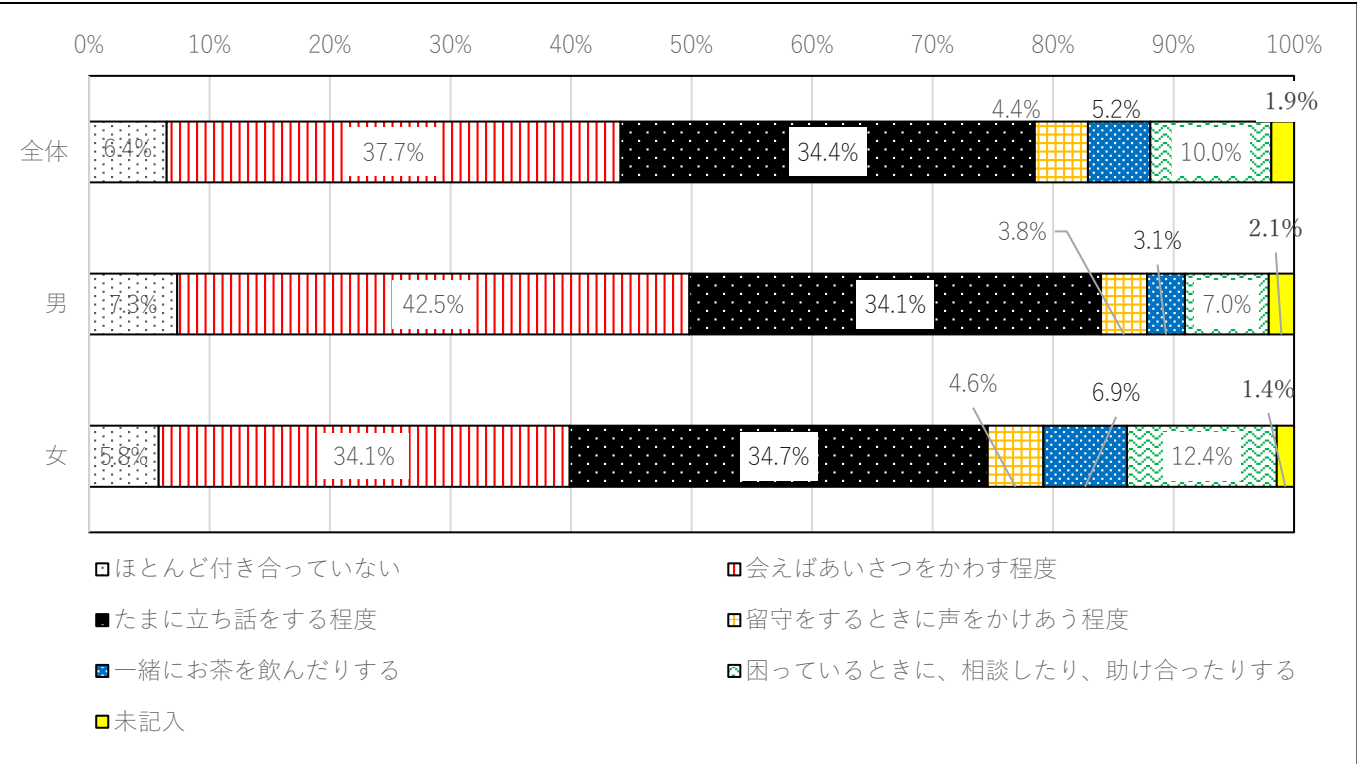
Q 5 隣近所とどのようなお付き合いをしていますか。一番近いものをお選びください。

(1つ選んで番号を記入してください)

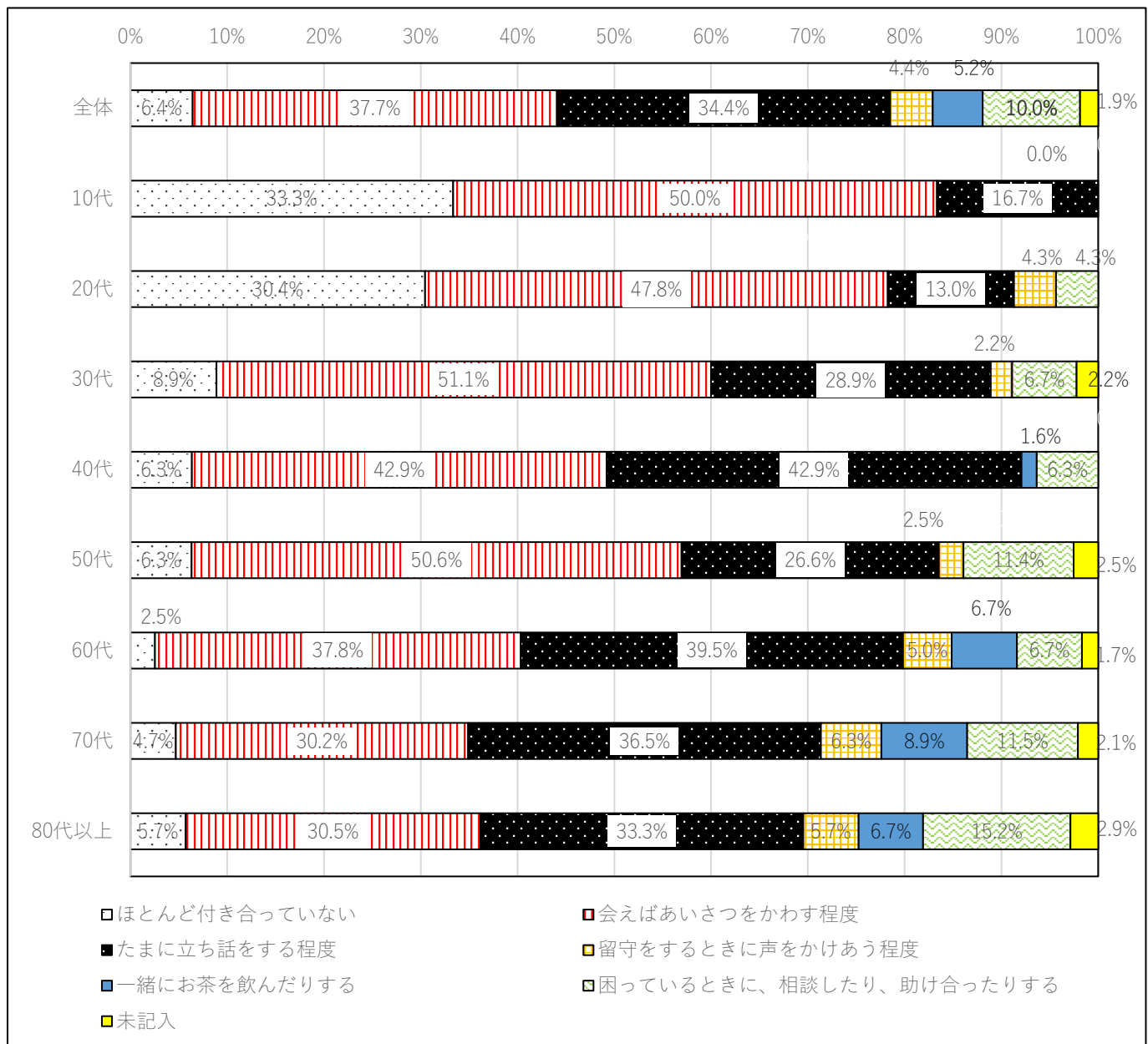
【回答数：637 件】



【(性別) 比較】



【(年代) 比較】

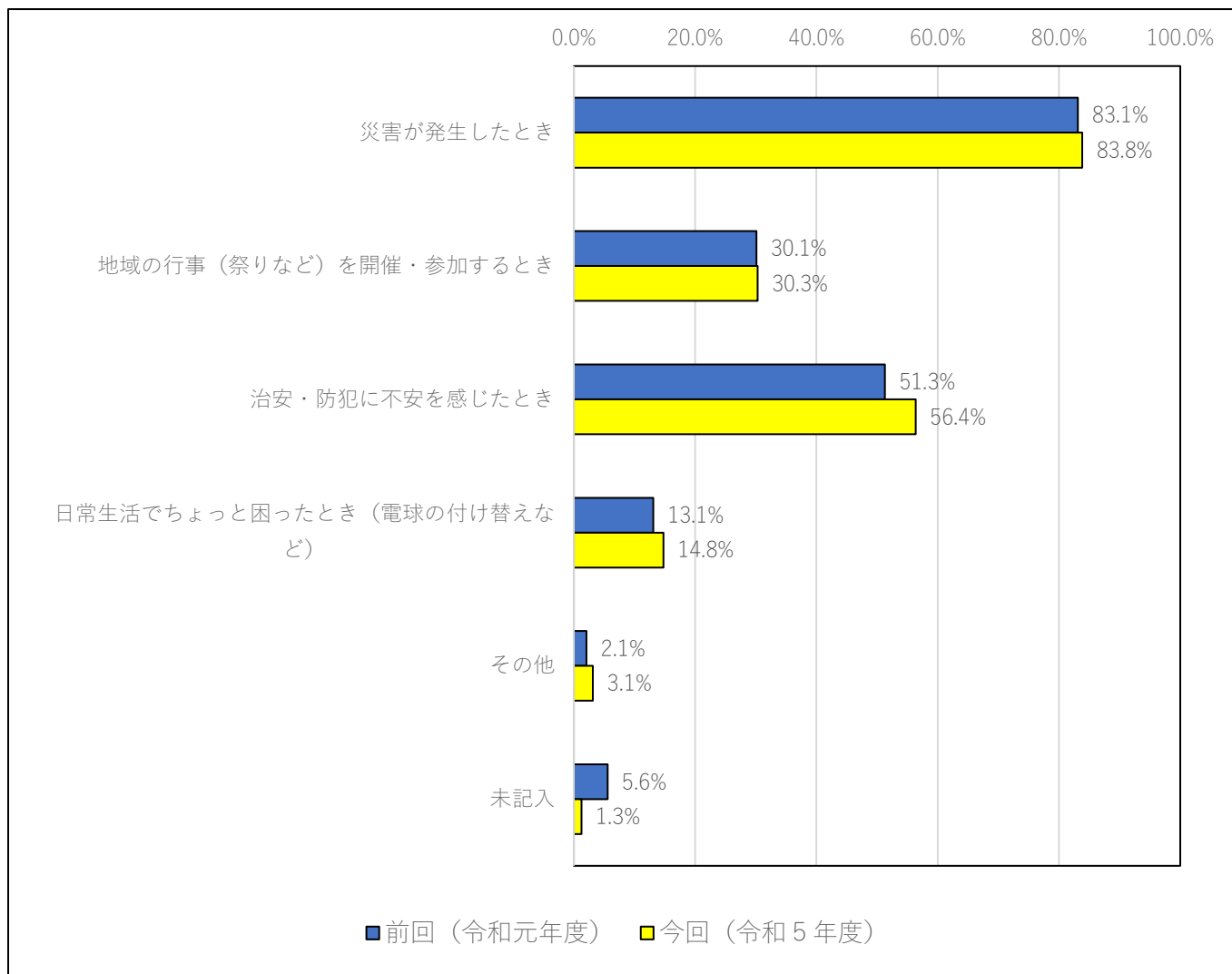


【Q5】

- ・ 「ほとんど付きあっていない」、「会えばあいさつをかわす程度」を合わせた割合が前回より、2.4 ポイント高くなっています。
- ・ 「ほとんど付きあっていない」、「会えばあいさつをかわす程度」を合わせた割合が30代以下及び50代の過半数を占めています。若い年代だけでなく近所関係の希薄化が見られます。
- ・ 「ほとんど付きあっていない」、「会えばあいさつをかわす程度」を合わせた割合が女性より男性が9.9ポイント高くなっています。

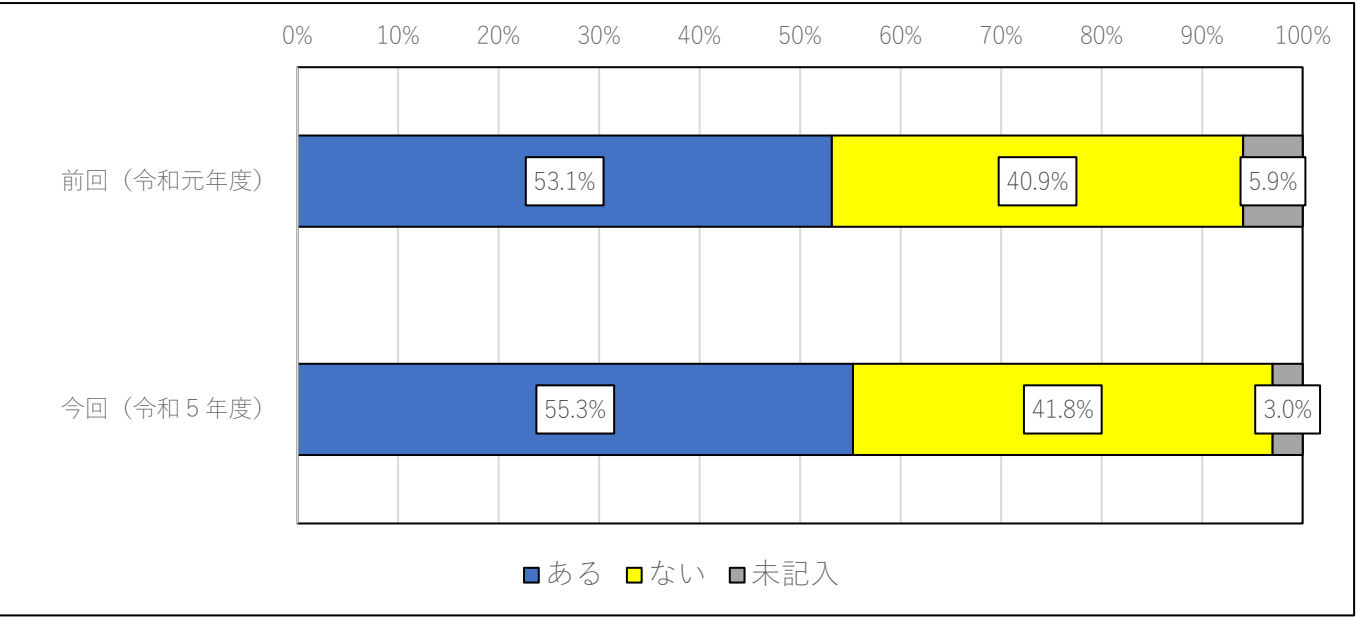
Q 6 どのようなとき隣近所との関わりが必要だと感じますか。
 (5つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数：637件】

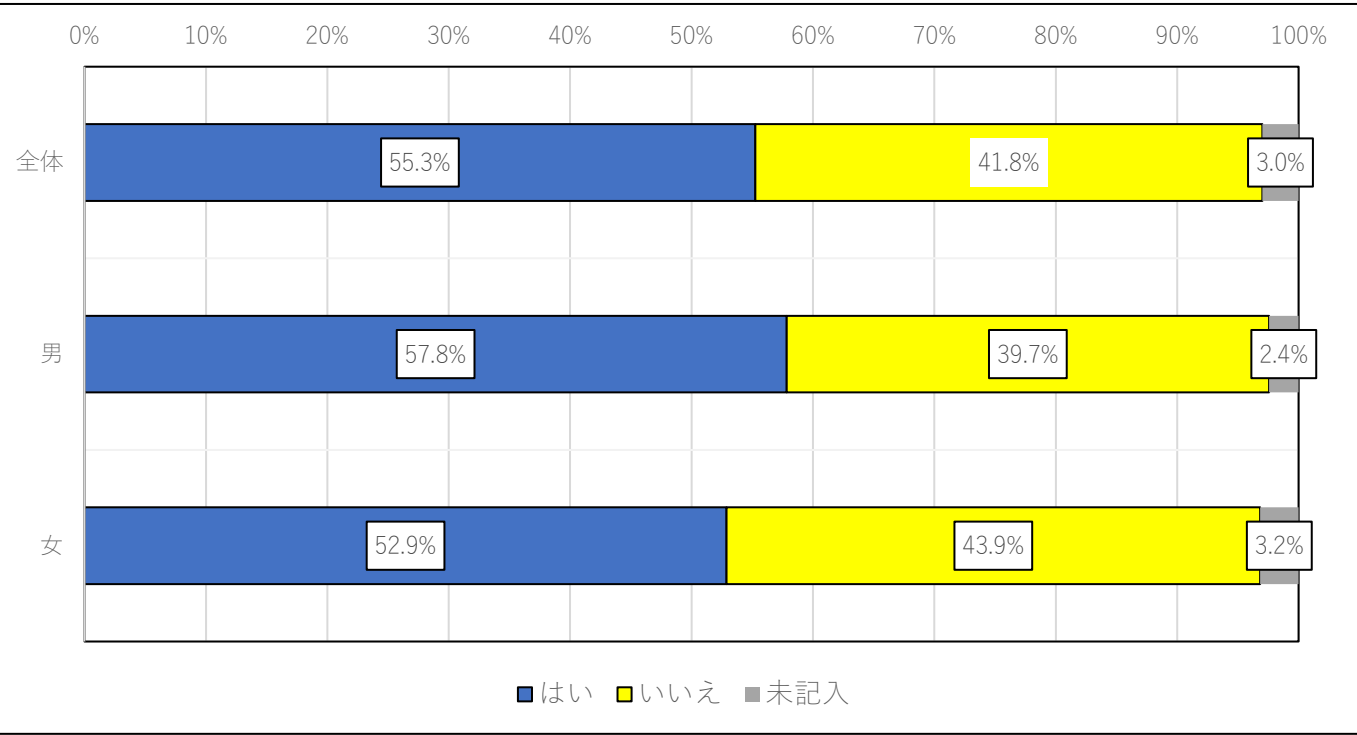


Q 7 近所の方から頼まれごとをされ、手伝ったことがありますか。
(○をひとつだけ記入してください)

【回答数：637 件】



【(性別) 比較】



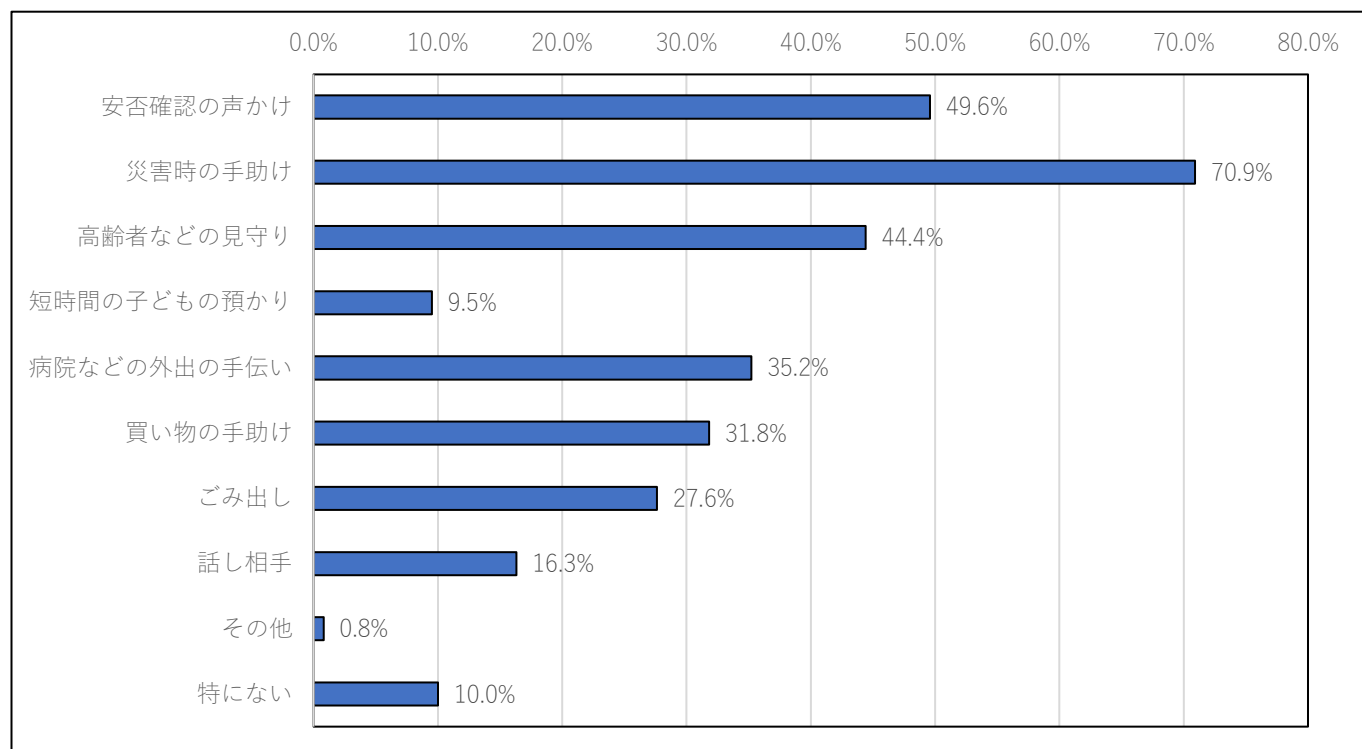
【(年代) 比較】



【Q7】

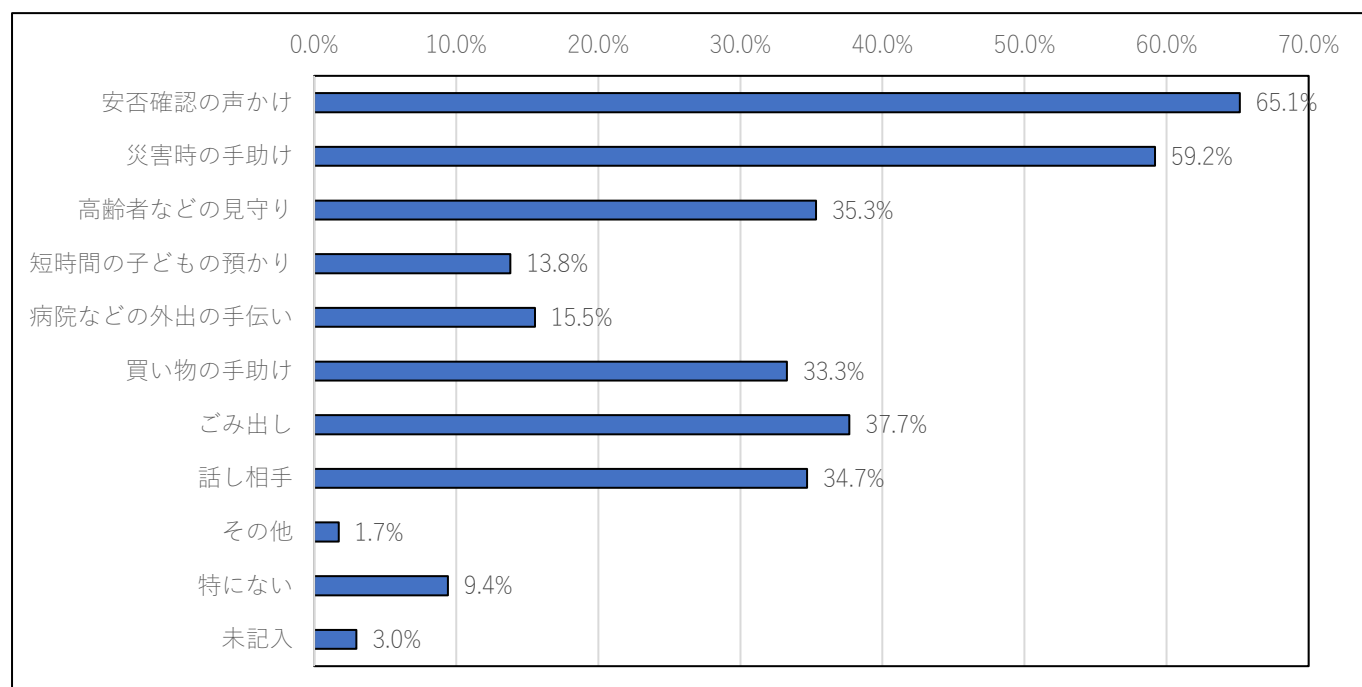
- ・前回と比較すると「ある」が2.2ポイント増加しています。
- ・女性より男性が「ある」回答した人が4.9ポイント高いです。
- ・40代以上では過半数以上の方が「ある」と回答していますが、30代以下の若い年代で「ある」と回答した人が過半数を下回っています。

Q 8 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか（公的なサービスを除く）（9つ以内で選んで番号を記入してください） 【今回からの新しい設問】【回答数：637 件】



Q 9 近隣の高齢者や障害のある人の介助・介護、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができると思いますか。（9つ以内で選んで番号を記入してください）

【今回からの新しい設問】【回答数：637 件】

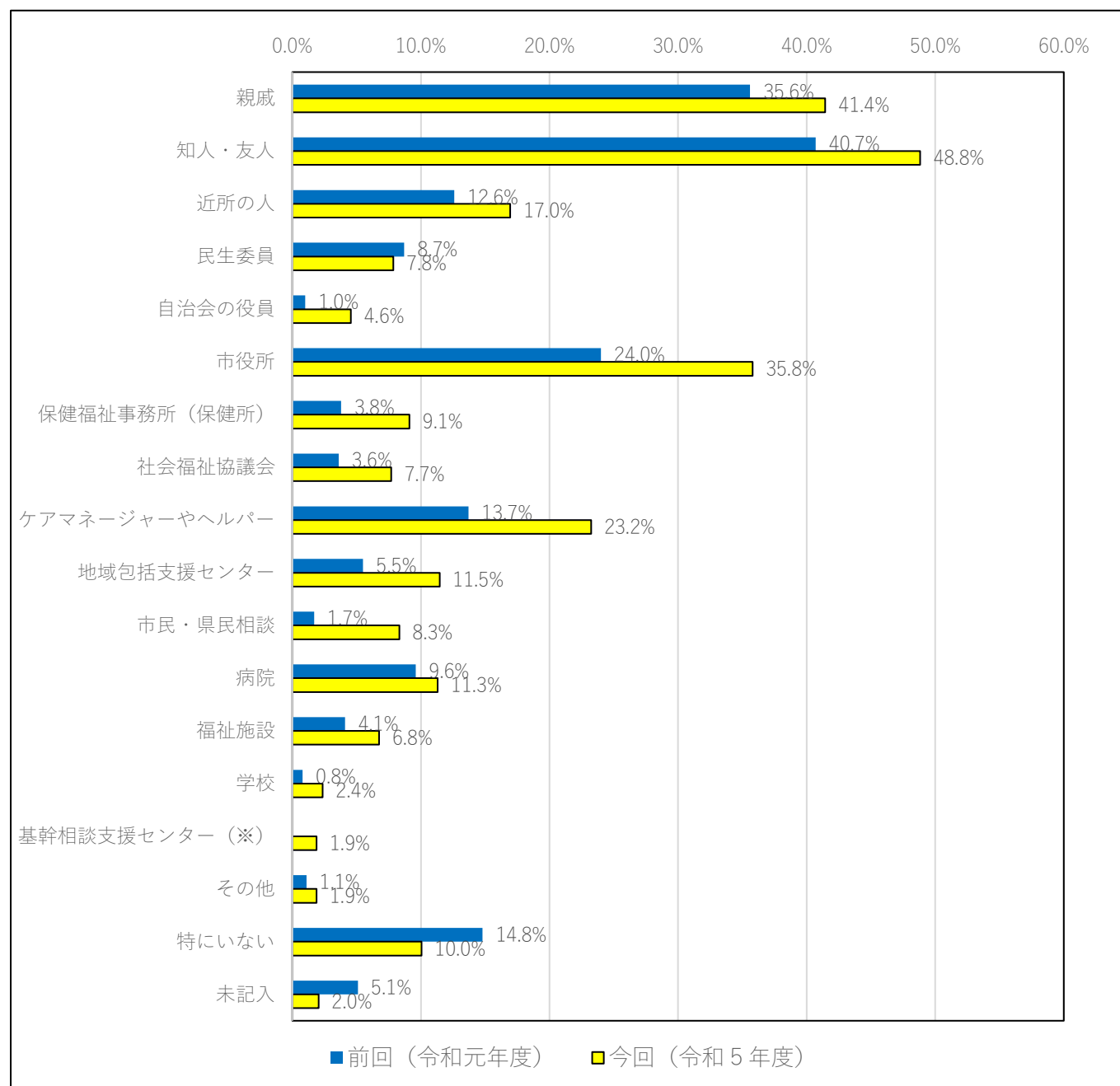


Q10 福祉のことで困ったとき、家族以外で相談する相手はどなたですか。

(16 つ以内で選んで番号を記入してください)

(※) は今回から追加した回答項目です。

【回答数：637 件】



【Q10】

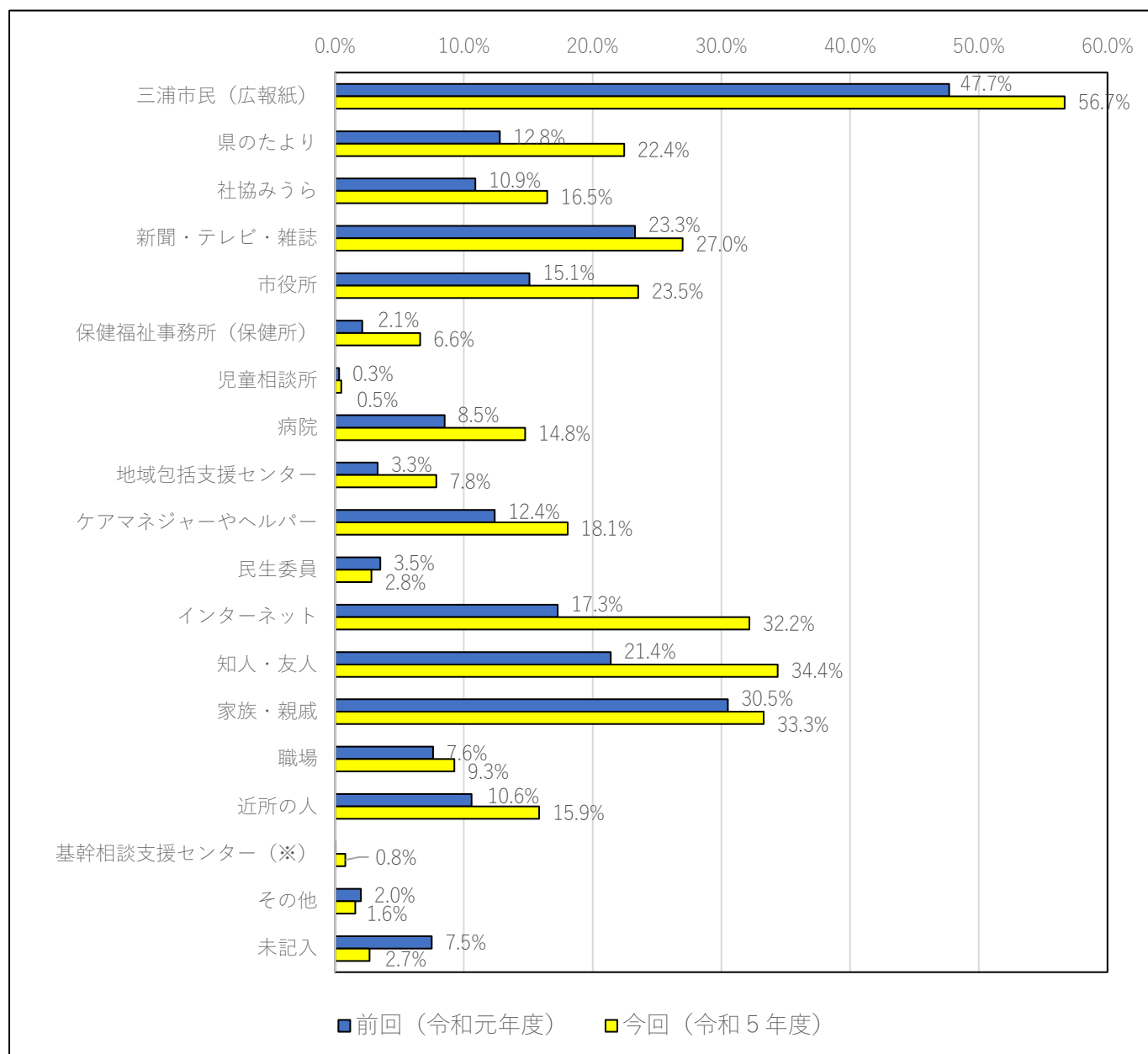
- ・「市役所」「ケアマネージャーやヘルパー」へ相談するという回答が前回より 10 ポイント前後増えています。
- ・前回、回答が低い傾向にあった「地域包括支援センター」へ相談するという回答が前回より 6 ポイント高くなりました。

Q11 医療・介護・福祉のサービスに関する情報はどこから得られますか。

(18 つ以内を選んで番号を記入してください)

(※) は今回から追加した回答項目です。

【回答数：637 件】



【Q11】

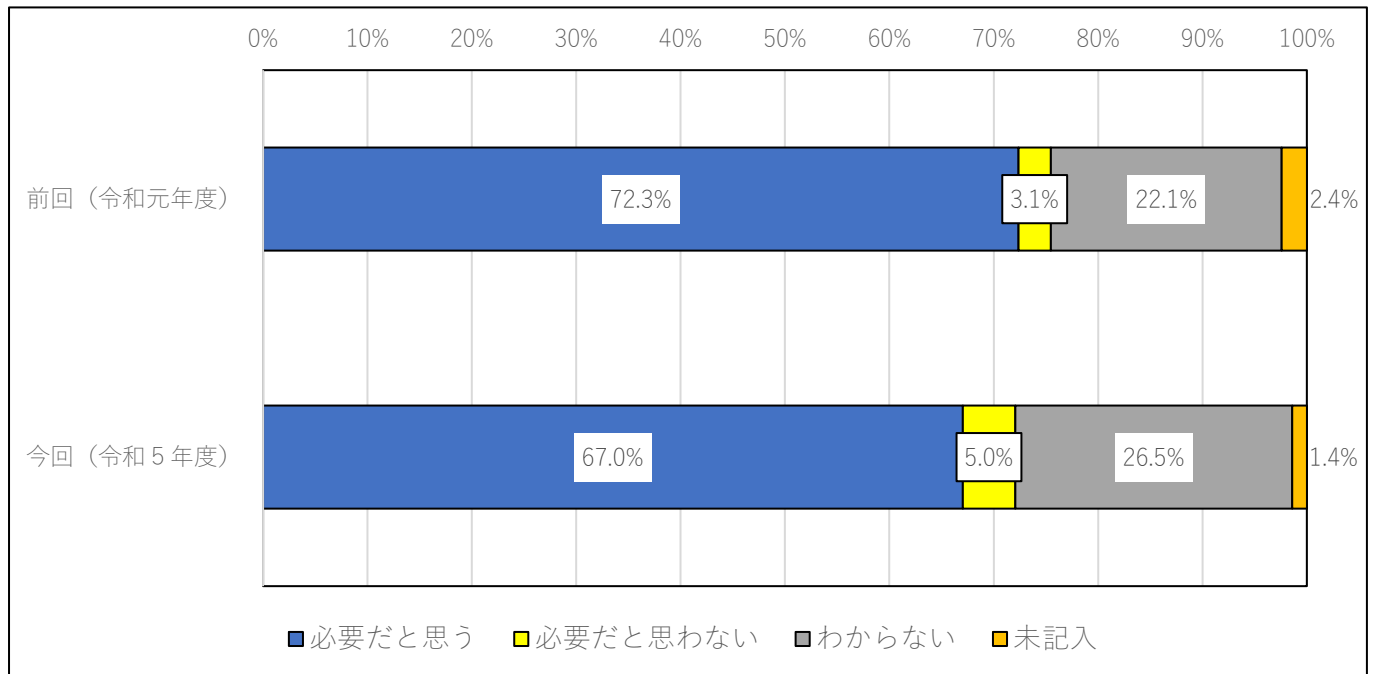
・「インターネット」が前回よりも 14.9 ポイント増加しています。

より広く医療・介護・福祉サービスの周知を図るため、情報発信のデジタル化を充実させる必要があると思われます。

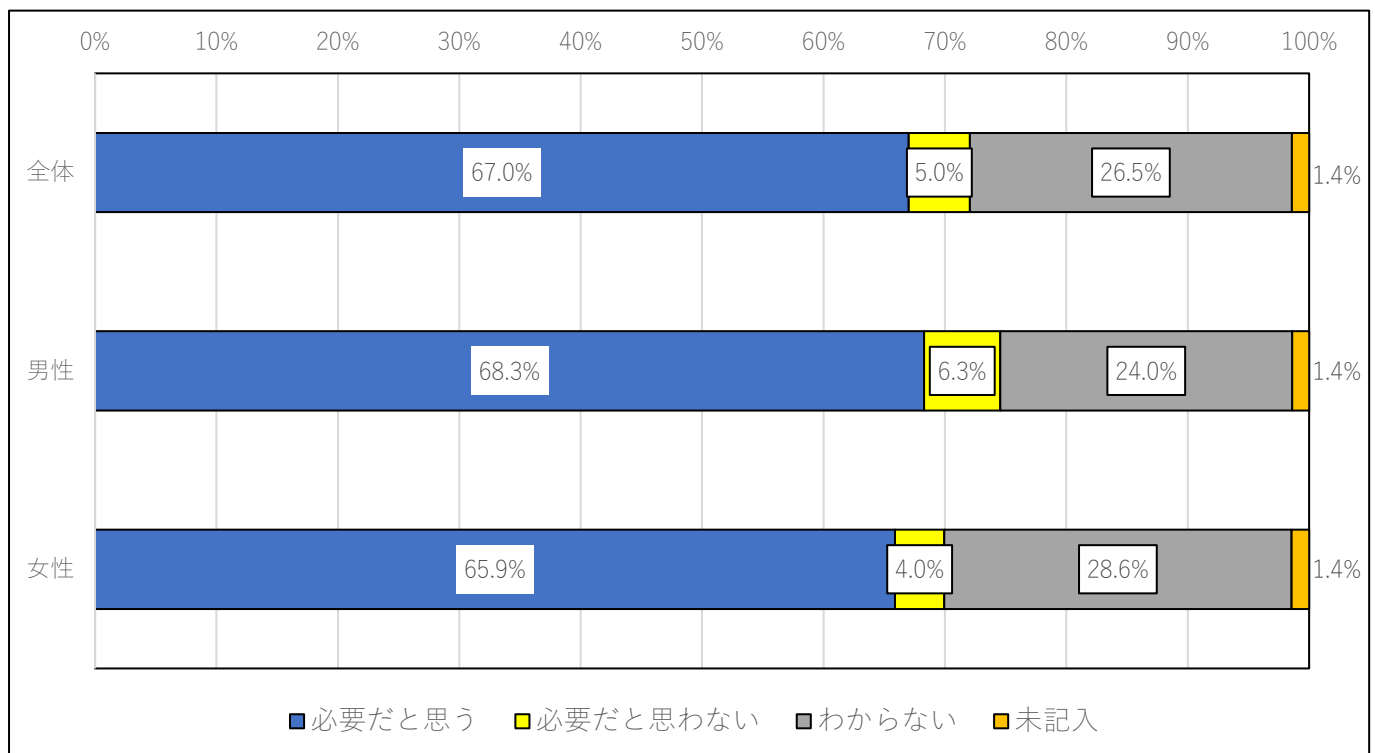
3. 地域での協力関係や暮らしについて

Q12 地域の中でおきる困りごとに対して、住んでいる方たちでお互いの
自主的な協力関係が必要だと思いますか。（○をひとつだけ記入してください）

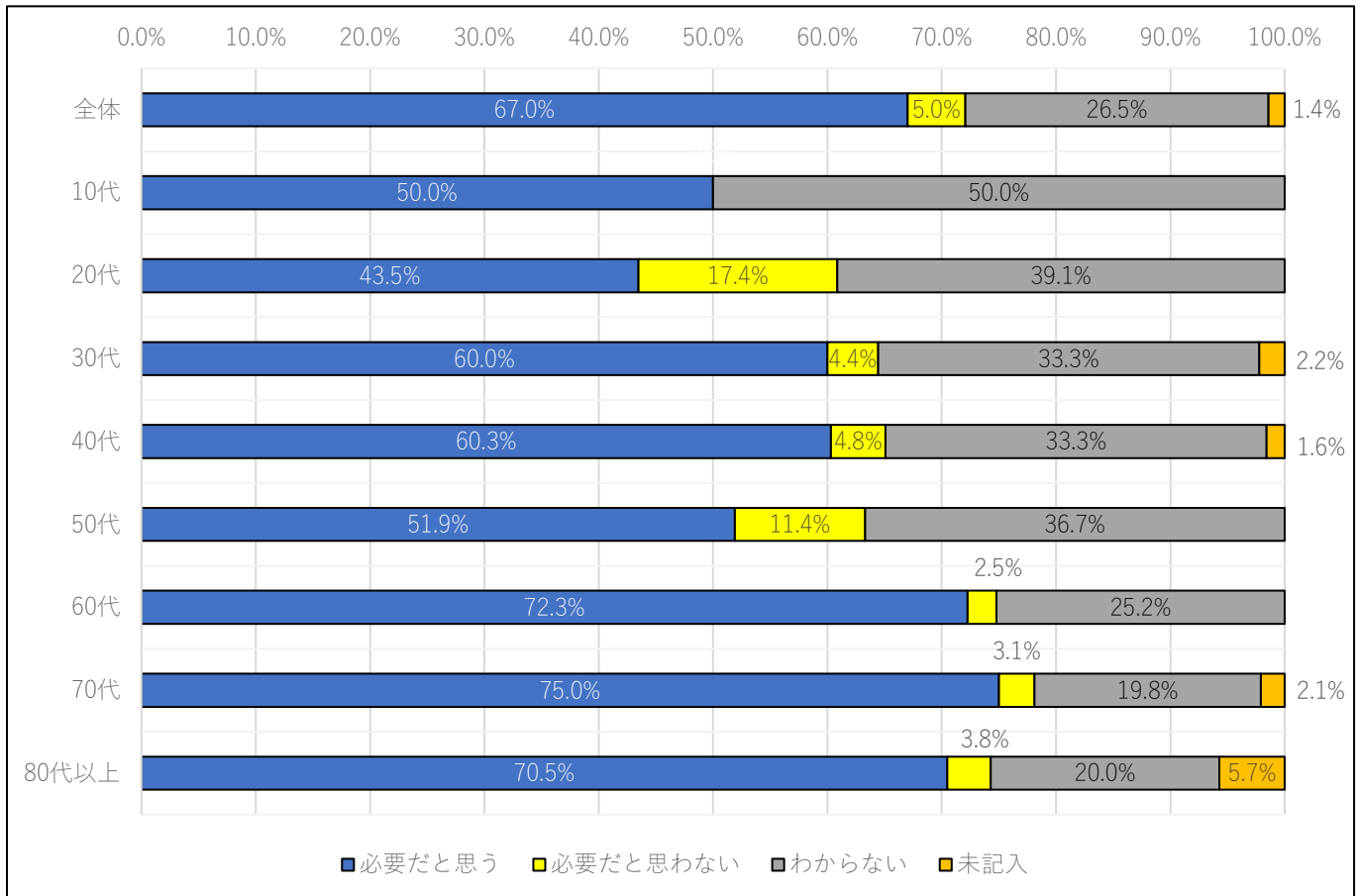
【回答数：637 件】



【（性別）比較】



【(年代) 比較】



【Q12】

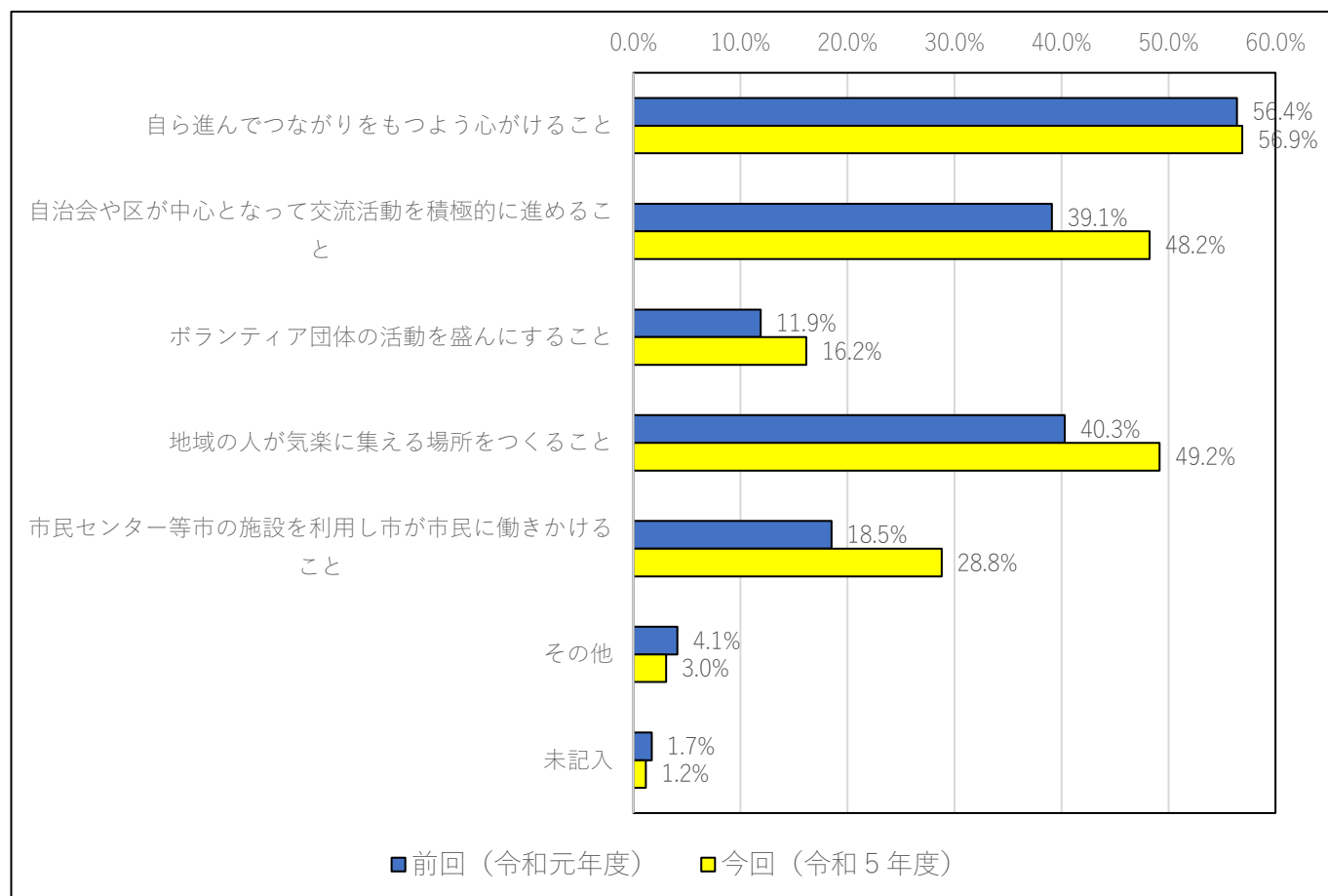
- ・ 前回より「必要だと思う」が5.3ポイント減少しています。
- ・ 特に20代では「必要だと思う」割合が43.5%と低くなっています。

Q13 Q12で「必要だと思う」に○をつけられた方のみお答えください。

地域の中でおきる困りごとに対して、住んでいる方たちでお互いの自主的な協力関係をつくるには、何が必要だと思いますか。

(6つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数：427件】



【Q13】

【その他（主な意見）】

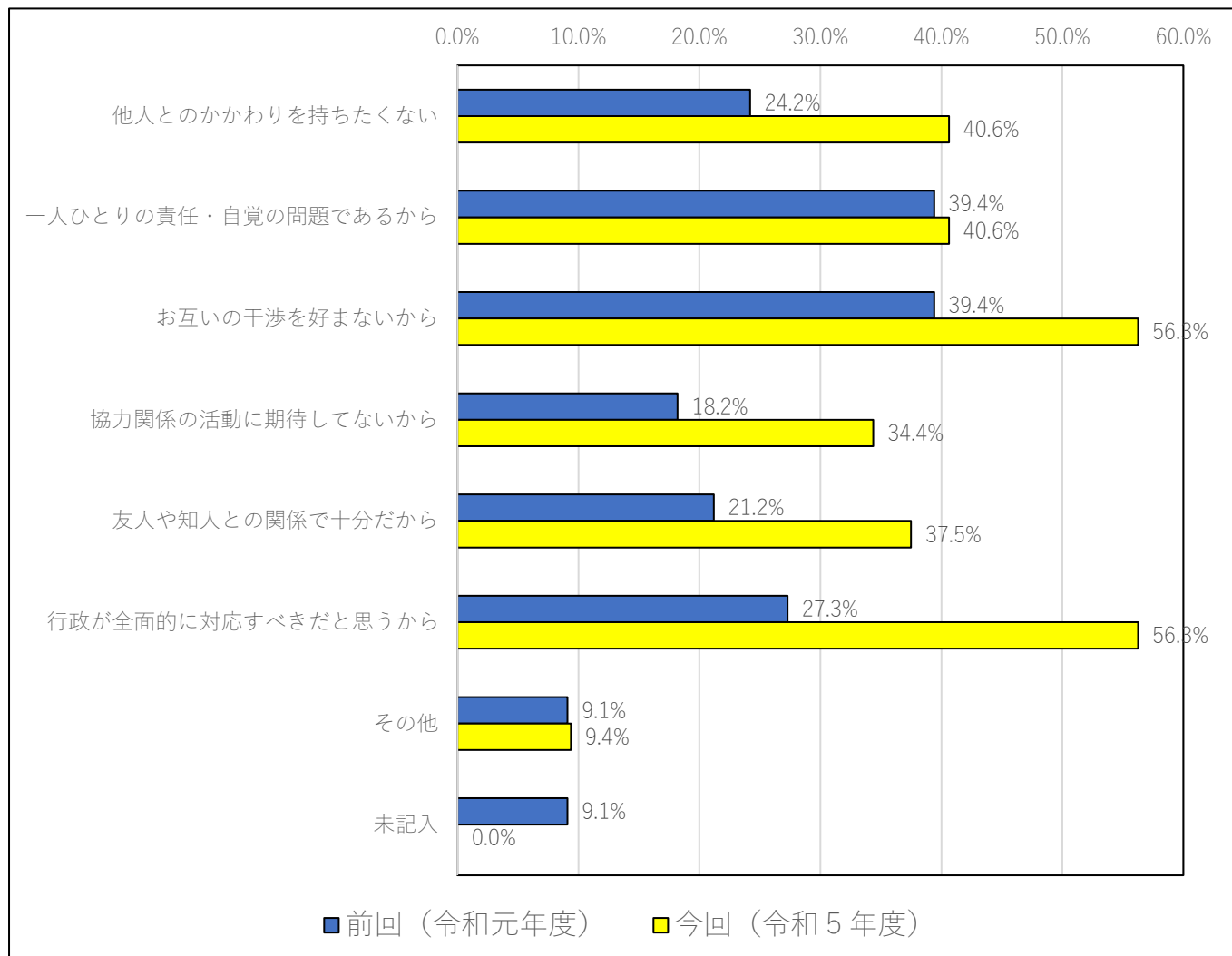
- ・ 公的機関の相談窓口をネットから調べられるよう連絡先の周知
- ・ 島国根性の強い日本人にはむずかしい。
- ・ 若者同士のつながり。

Q14 Q12で「必要だと思わない」に○をつけられた方のみお答えください。

地域の中でおきる困りごとに対して、住んでいる方たちでお互いの自主的な協力関係が必要ないと思う理由はなんですか。

(7つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数：637 件】

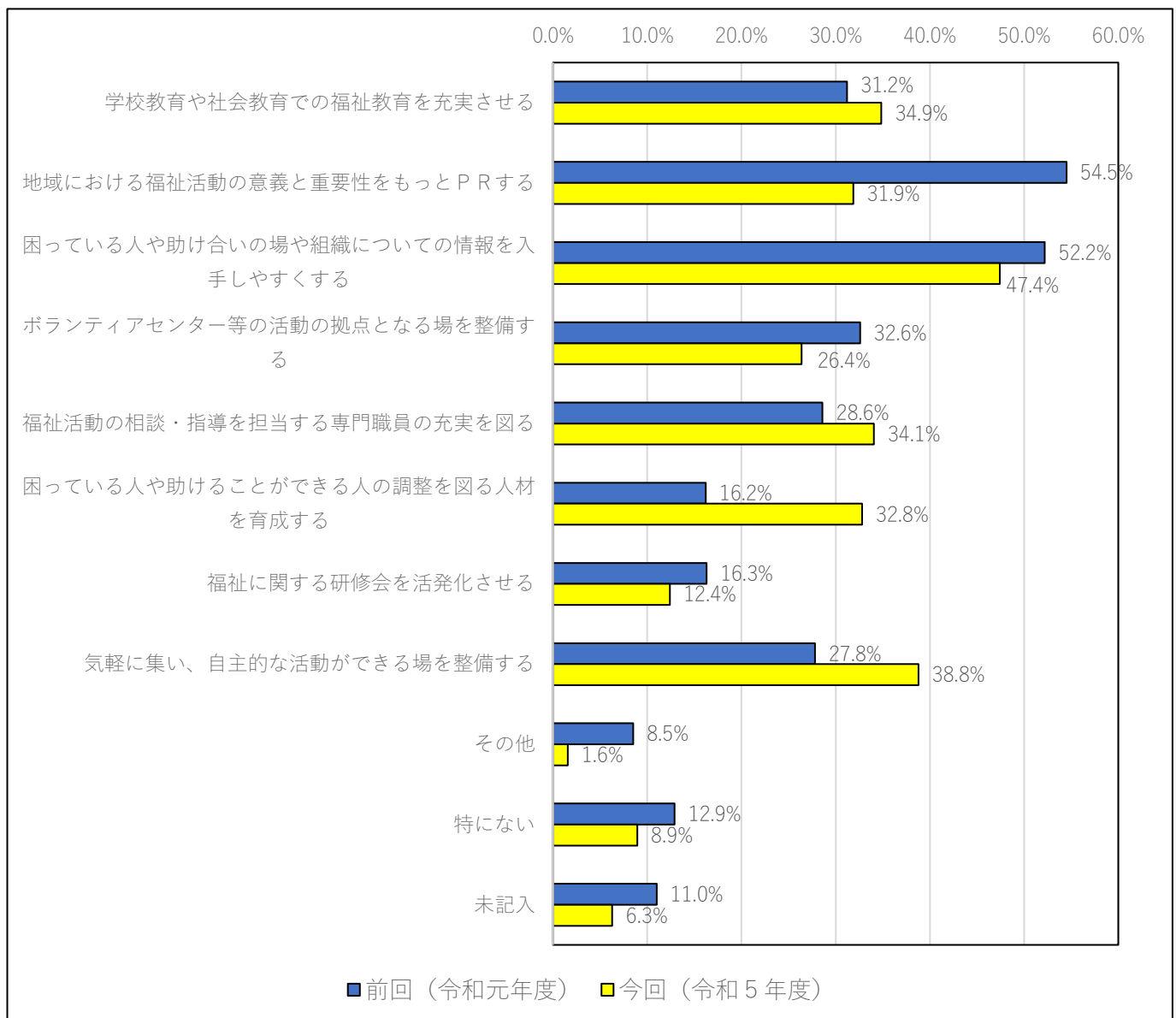


【Q14】

【その他（主な意見）】

- ・ 住民同士の支え合いが必要なこともあるが、断り辛かったり、負担に思っても言い出せないなどの問題が起きやすいと思うので、行政やプロの第三者を頼るのが良いと思う。
- ・ 自主的にすることで、別の問題が発生する。

Q15 地域における助け合いを活発にするために必要と思われることはどのようなことですか。（9つ以内で選んで番号を記入してください） 【回答数：637 件】



【Q15】

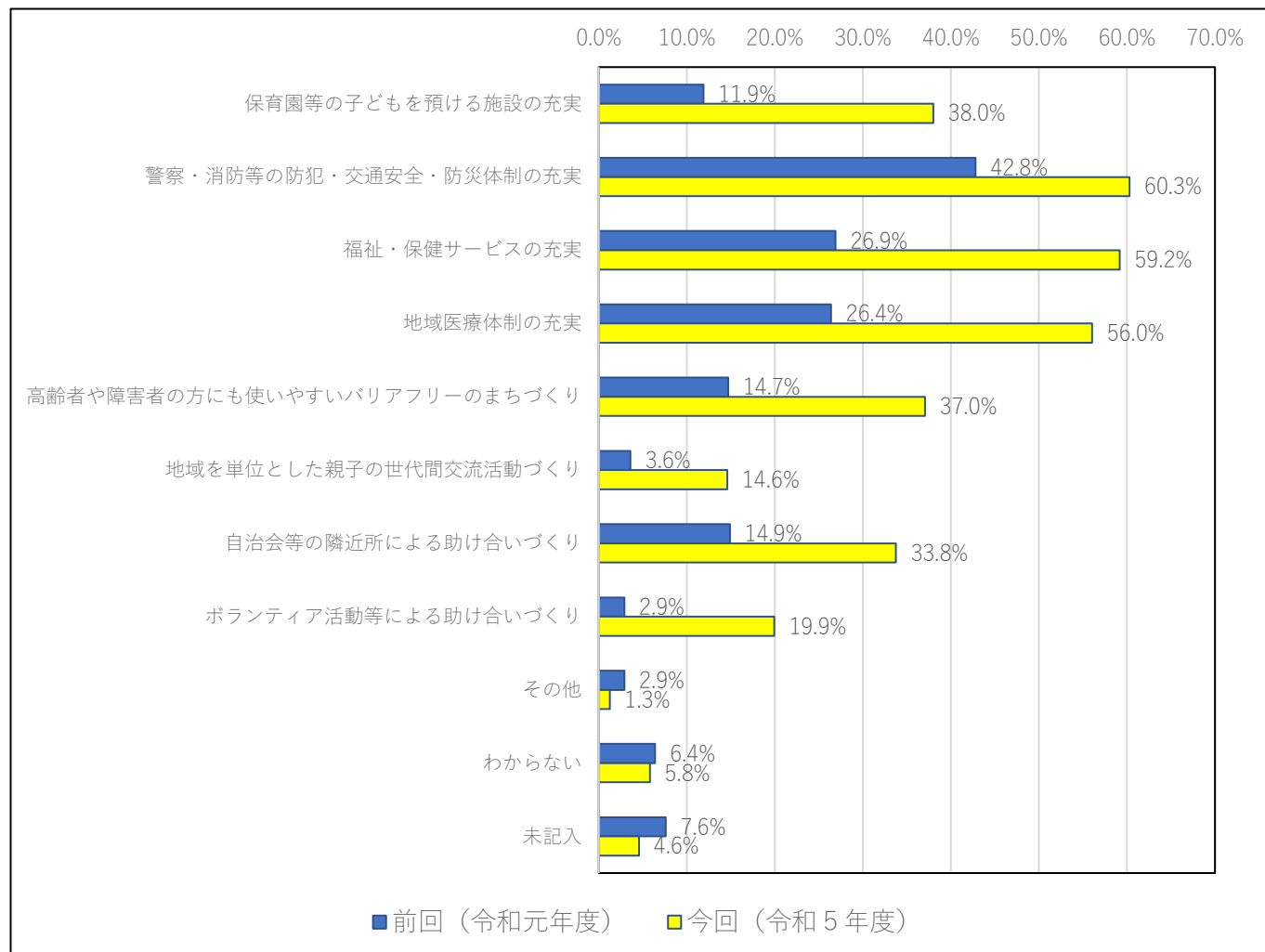
【その他（主な意見）】

- ・もともと住んでいる人、初期のベッドタウン化で来た人、最近来た人の間での壁を感じます。
- ・SNS の活用

Q16 地域の中で、安心して暮らしていくには、どのようなことが大切だと思いますか。

(9つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数：637 件】



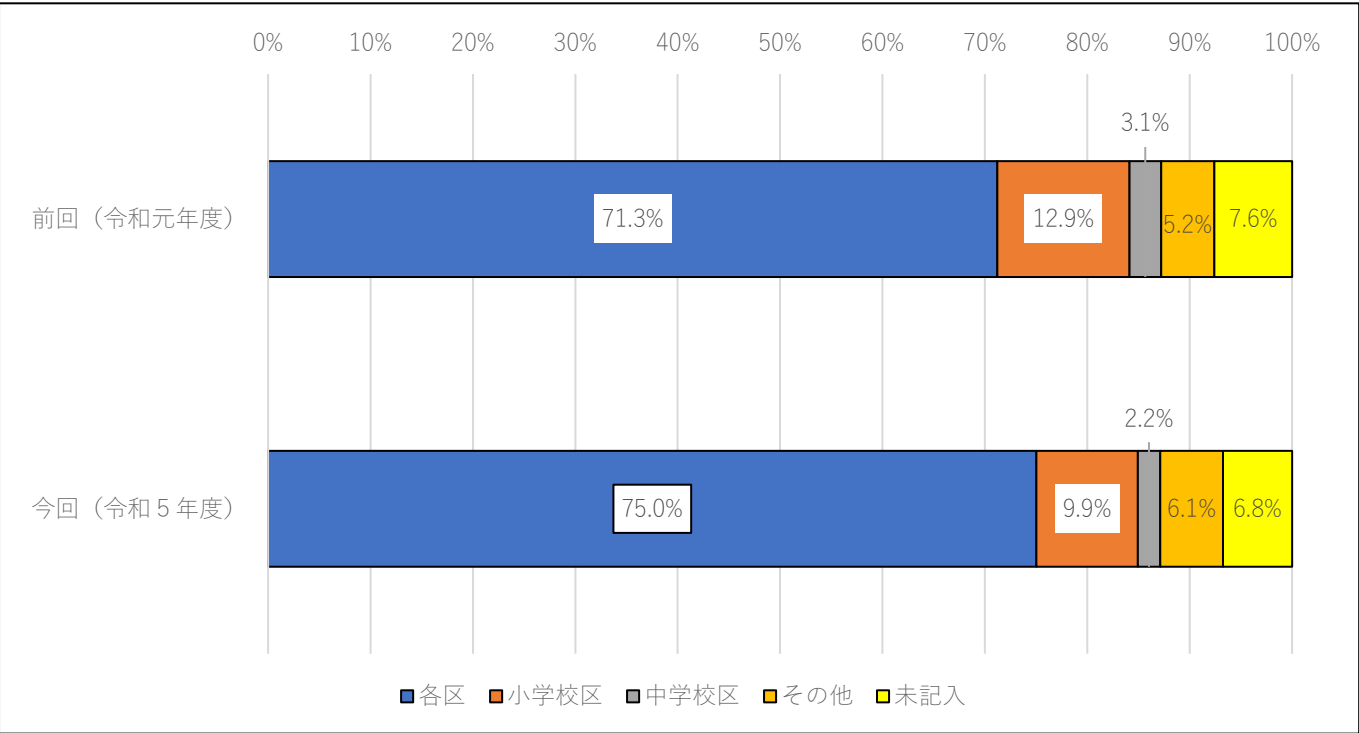
【Q16】

【その他（主な意見）】

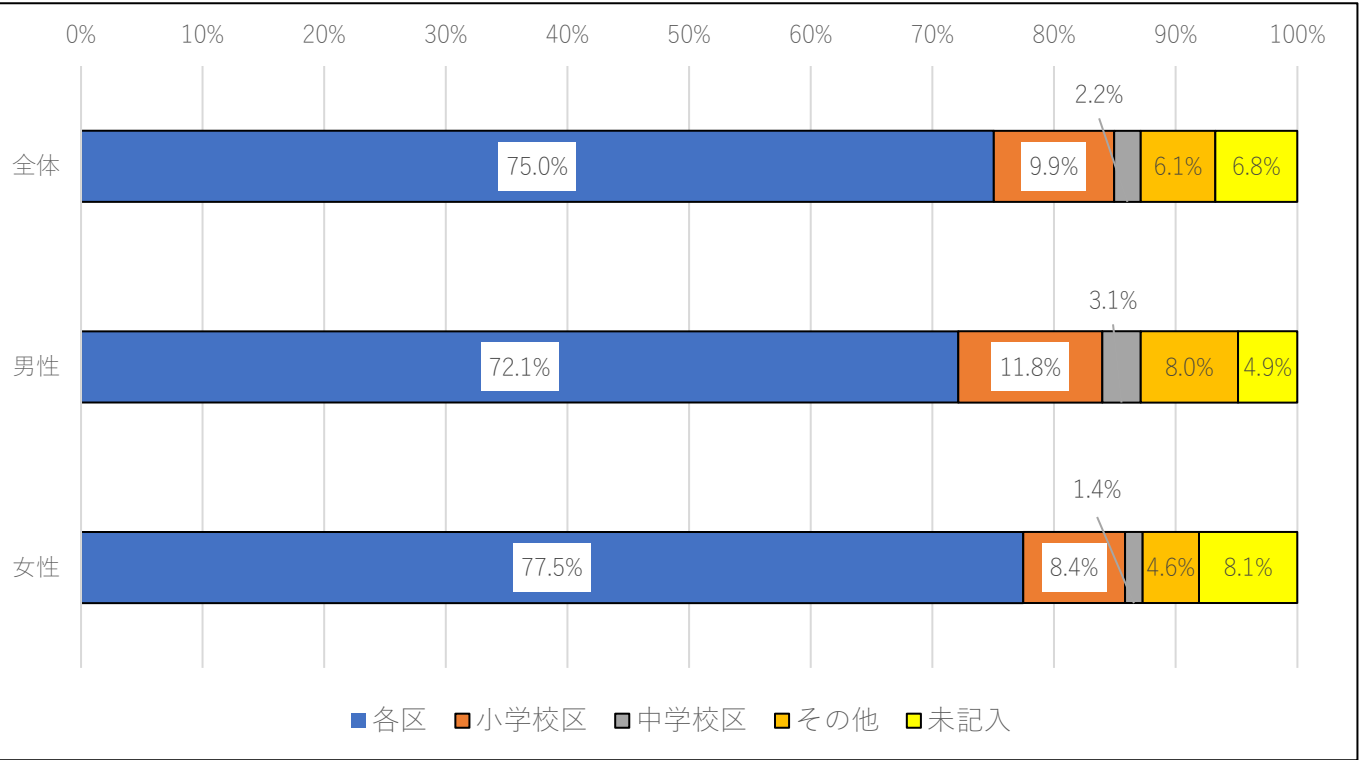
- ・安心して出産できる場（市外産院との連携を含む）
- ・子どもにとって住みやすいまちづくり
- ・一人暮らしの人の見守り
- ・三浦市全体での交流の場を設ける
- ・障害のある人を差別しない社会を作る

Q17 あなたにとって、住民が互いに助け合いをするとしたら、どの「範囲」が最もよいと思いますか。（1つ選んで番号を記入してください）

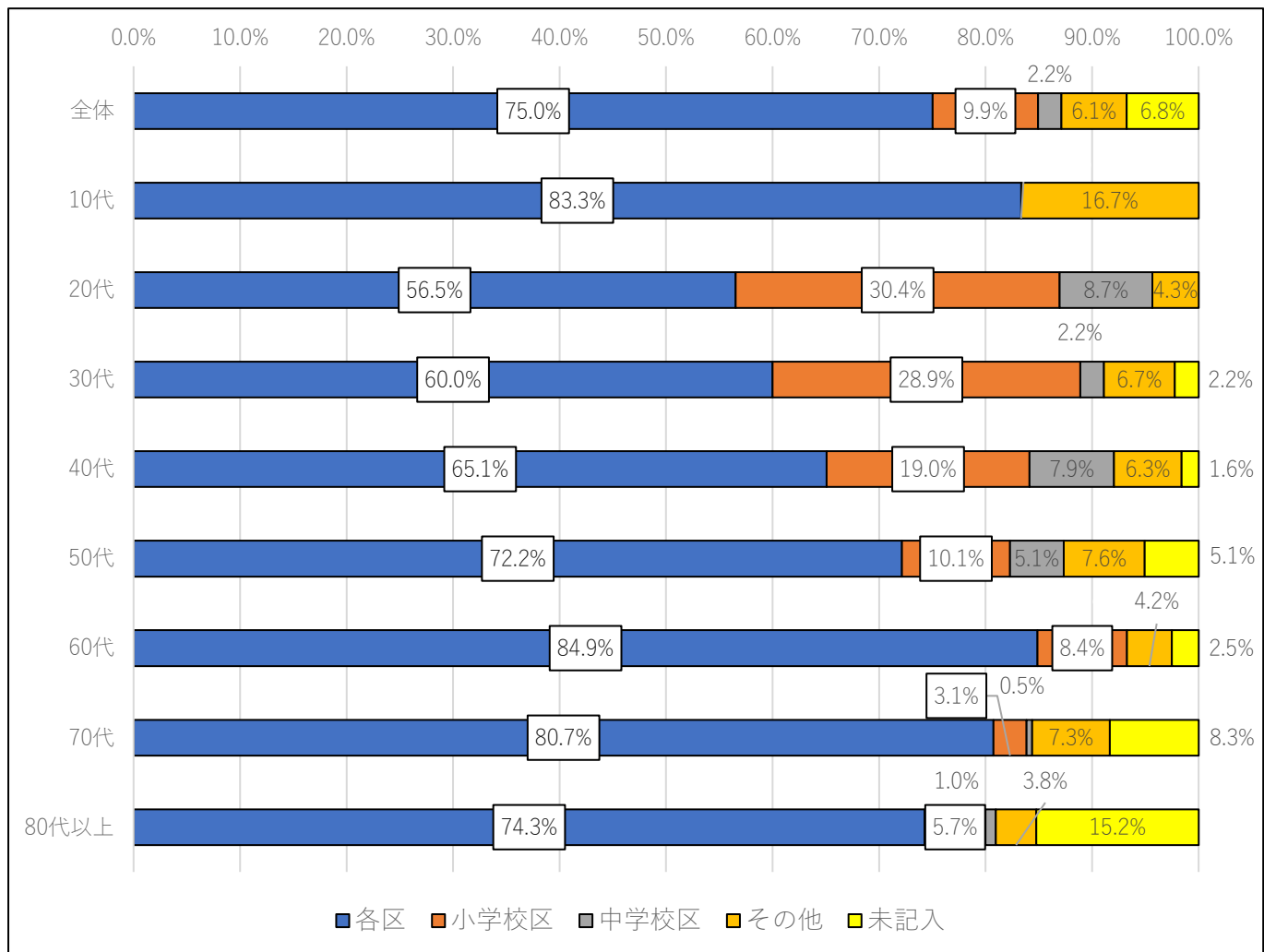
【回答数：637 件】



【（性別）比較】



【(年代) 比較】



【Q17】

・すべての世代で「各区」の占める割合が一番大きくなっています。

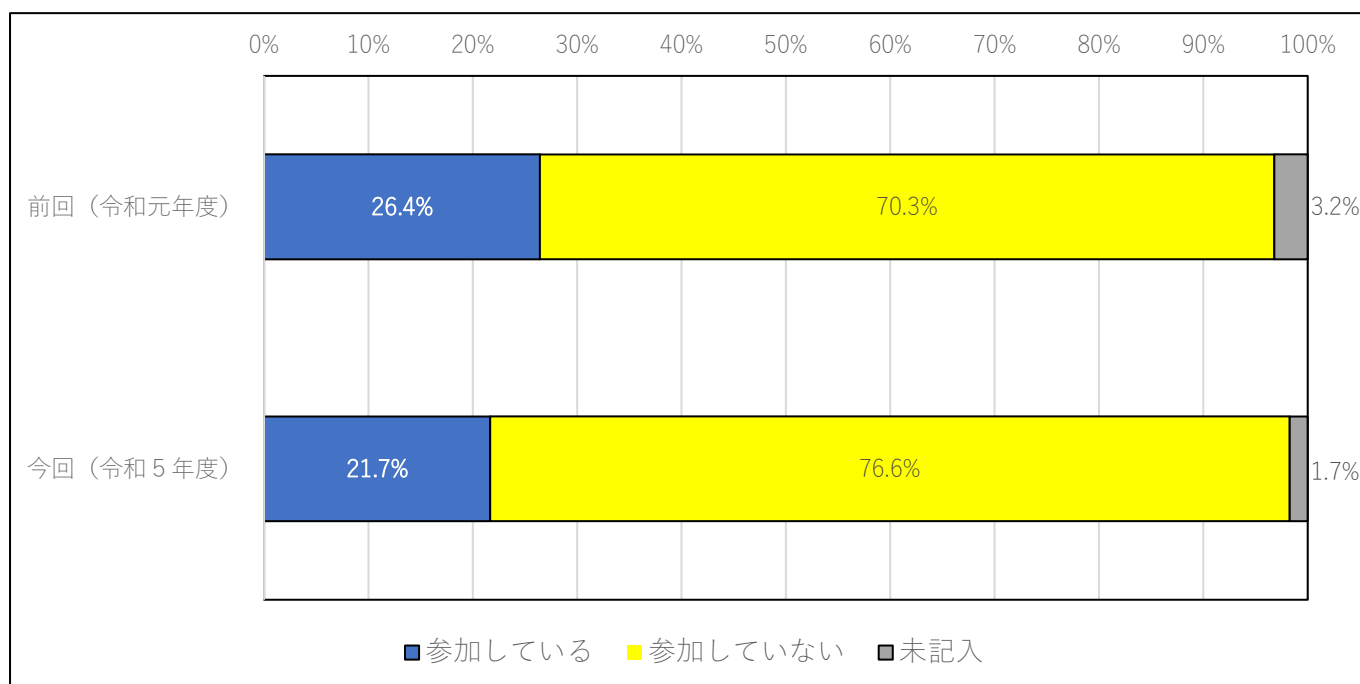
【その他（主な意見）】

- ・昔の隣組のような範囲
- ・自治会
- ・ゴミ捨て場が一緒の人たち

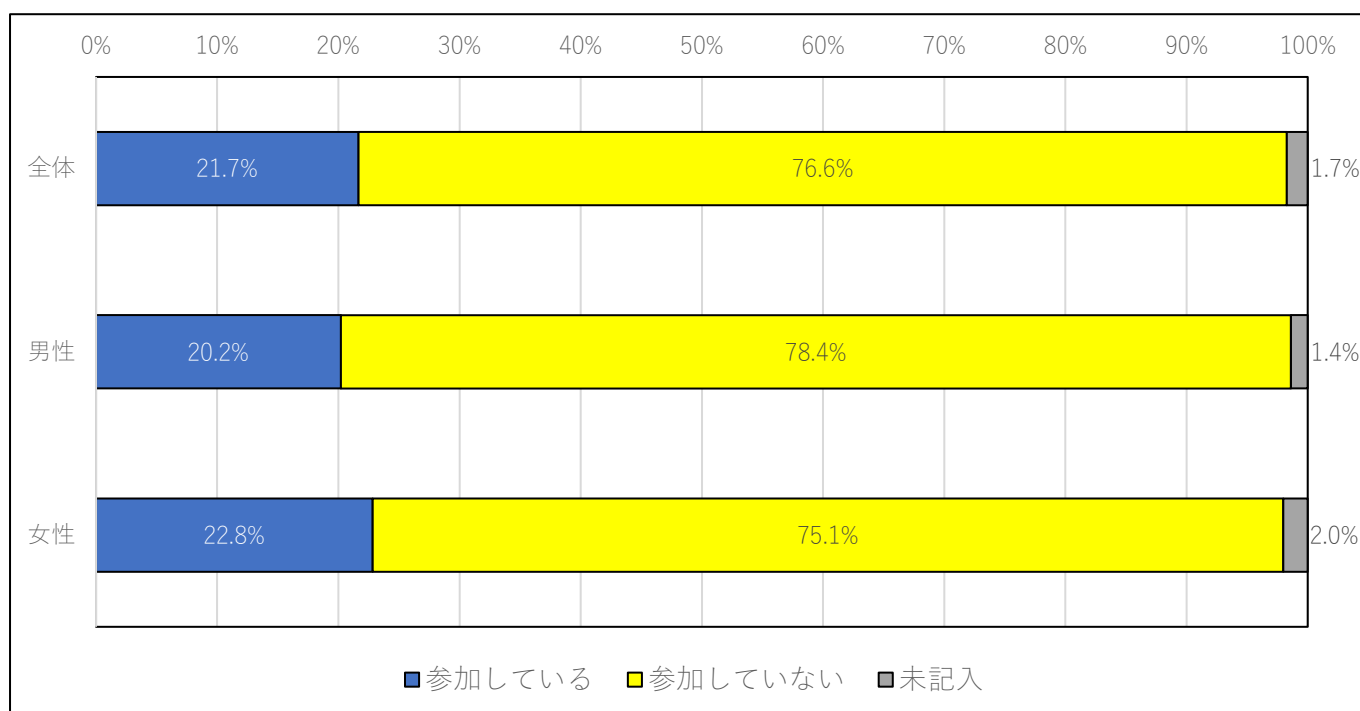
4. 地域活動について

Q18 地域の活動に参加していますか。（〇をひとつだけ記入してください）

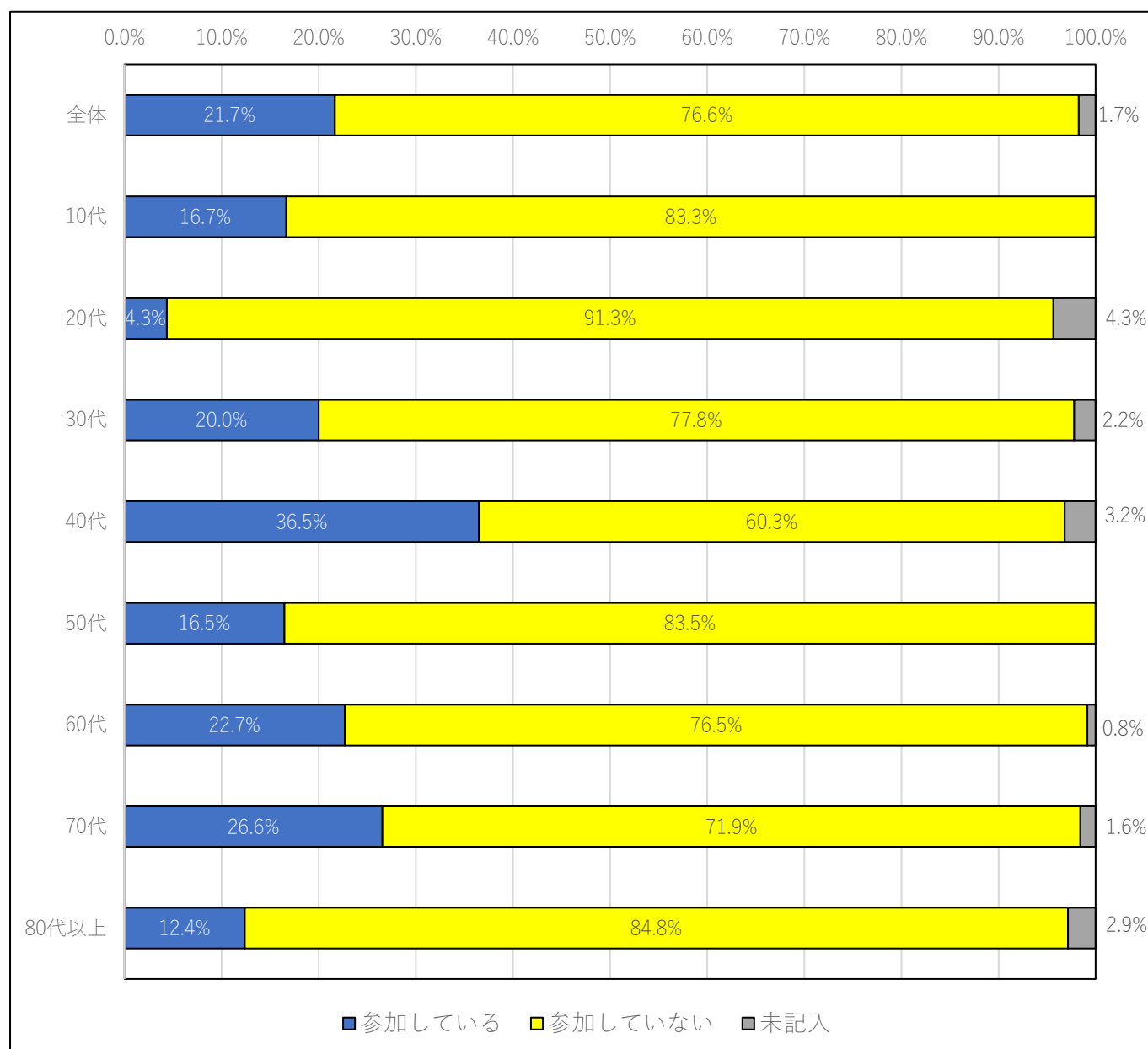
【回答数：637 件】



【（性別）比較】



【(年代) 比較】



【Q18】

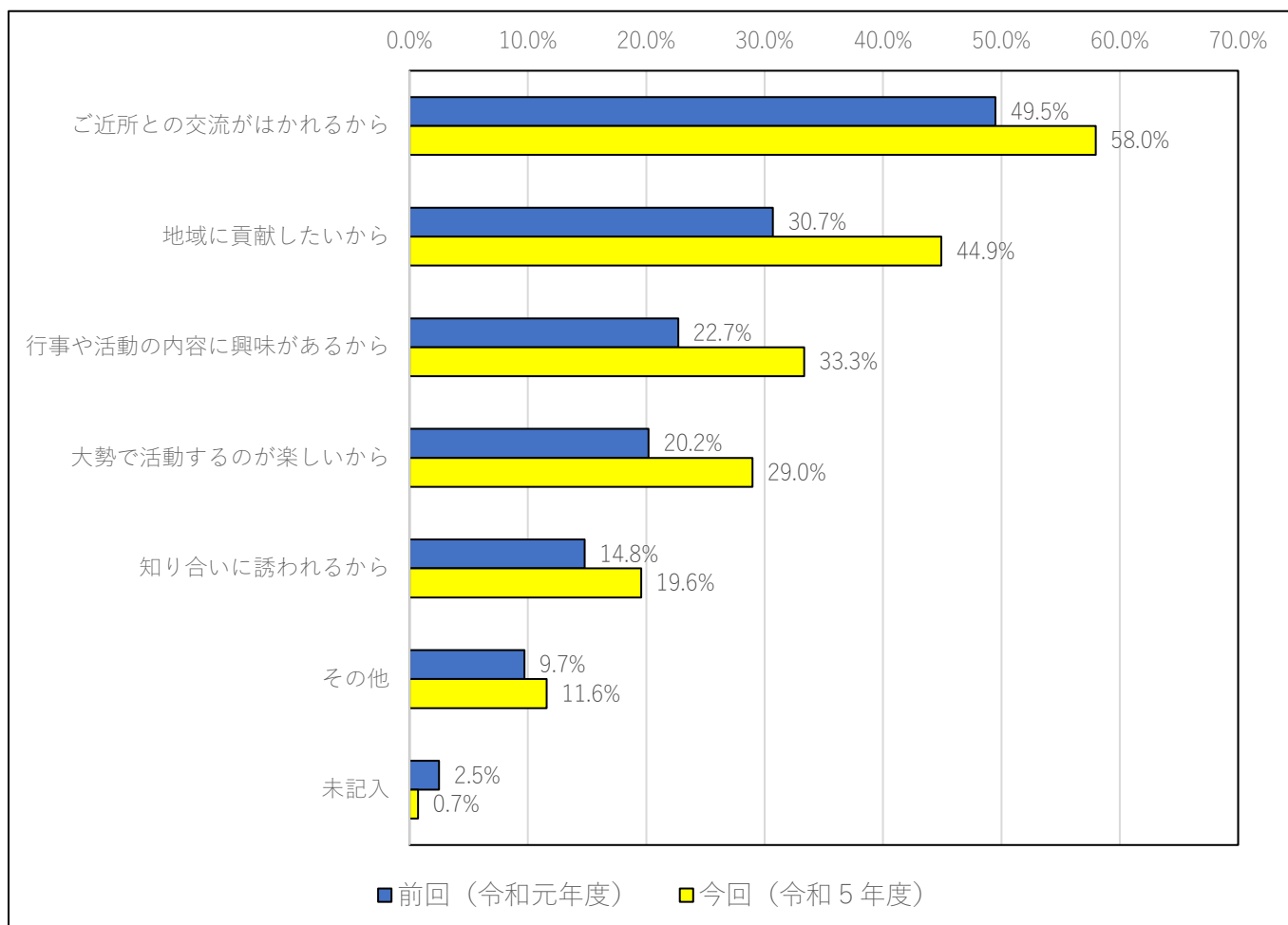
- ・ 前回と比較すると「参加している」が4.7ポイント減少しています。
- ・ 「参加している」割合は20代が一番低くなっています。

Q19 Q18で「参加している」に○をつけられた方のみお答えください。

地域活動に参加している理由は何ですか。

(6つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数:138 件】



【Q19】

【その他 (主な意見)】

- ・ PTA 等は順番で回ってくる義務だから
- ・ 自分が健康で活動出来て元気であるため

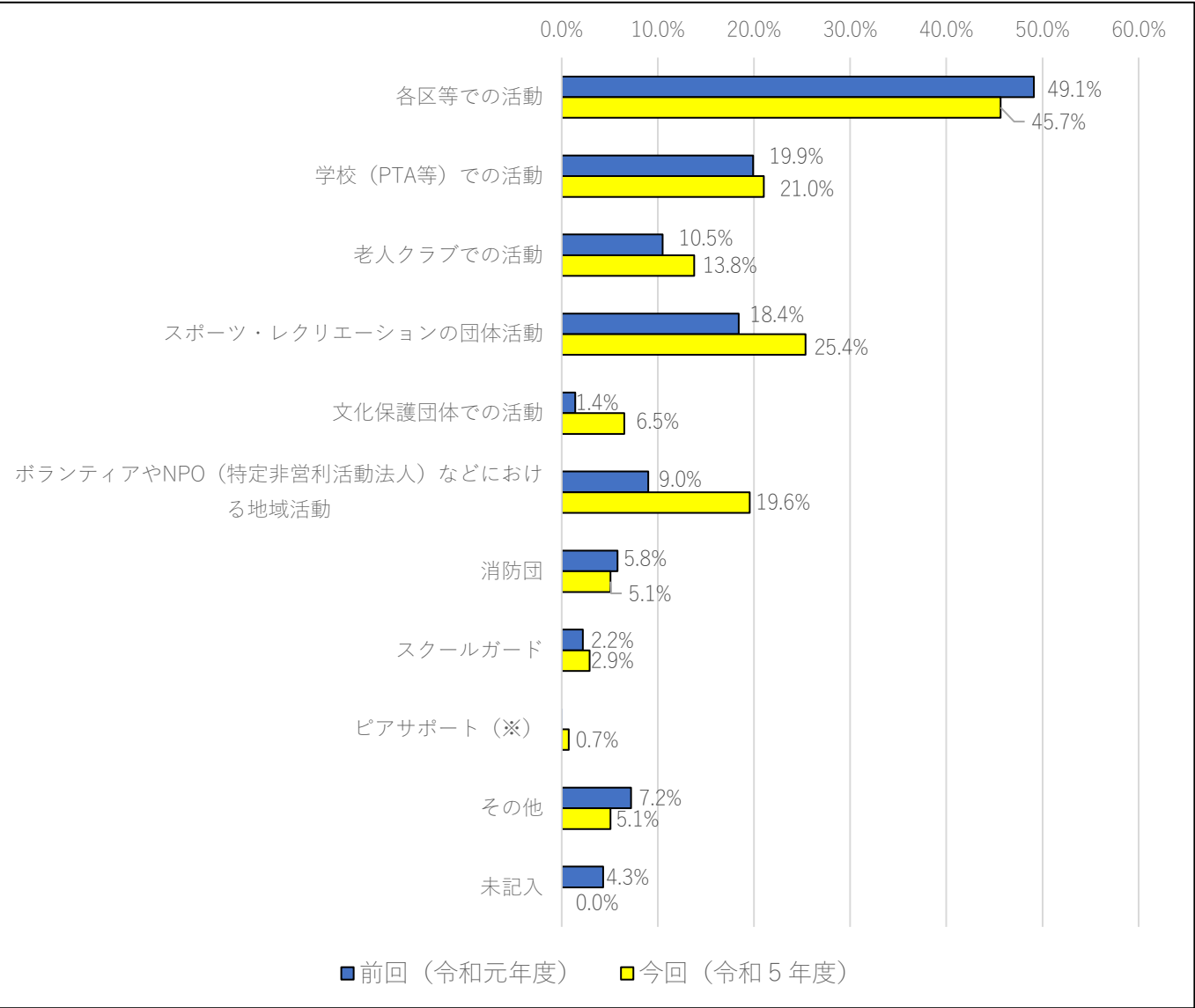
Q20 Q18で「参加している」に○をつけられた方のみお答えください。

地域で参加している活動はなんですか。

(10 つ以内で選んで番号を記入してください)

(※) は今回からの回答項目です。

【回答数 : 138 件】



【Q20】

【その他 (主な意見)】

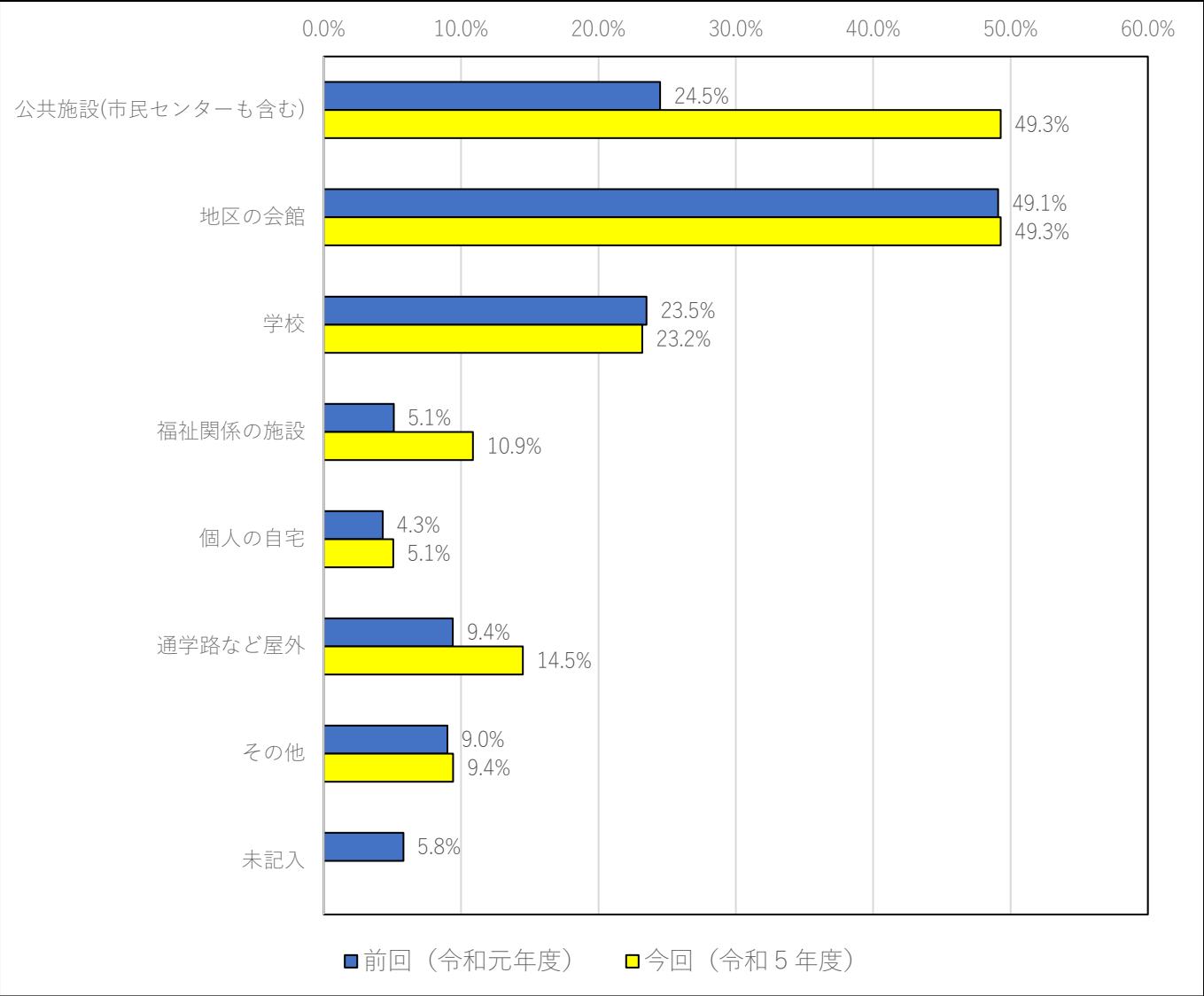
- ・ 清掃活動
- ・ 子ども会などでの活動
- ・ お祭り関係
- ・ 県人会

Q21 Q18で「参加している」に○をつけられた方のみお答えください。

地域活動を行う場所はどこですか。

(7つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数：138 件】

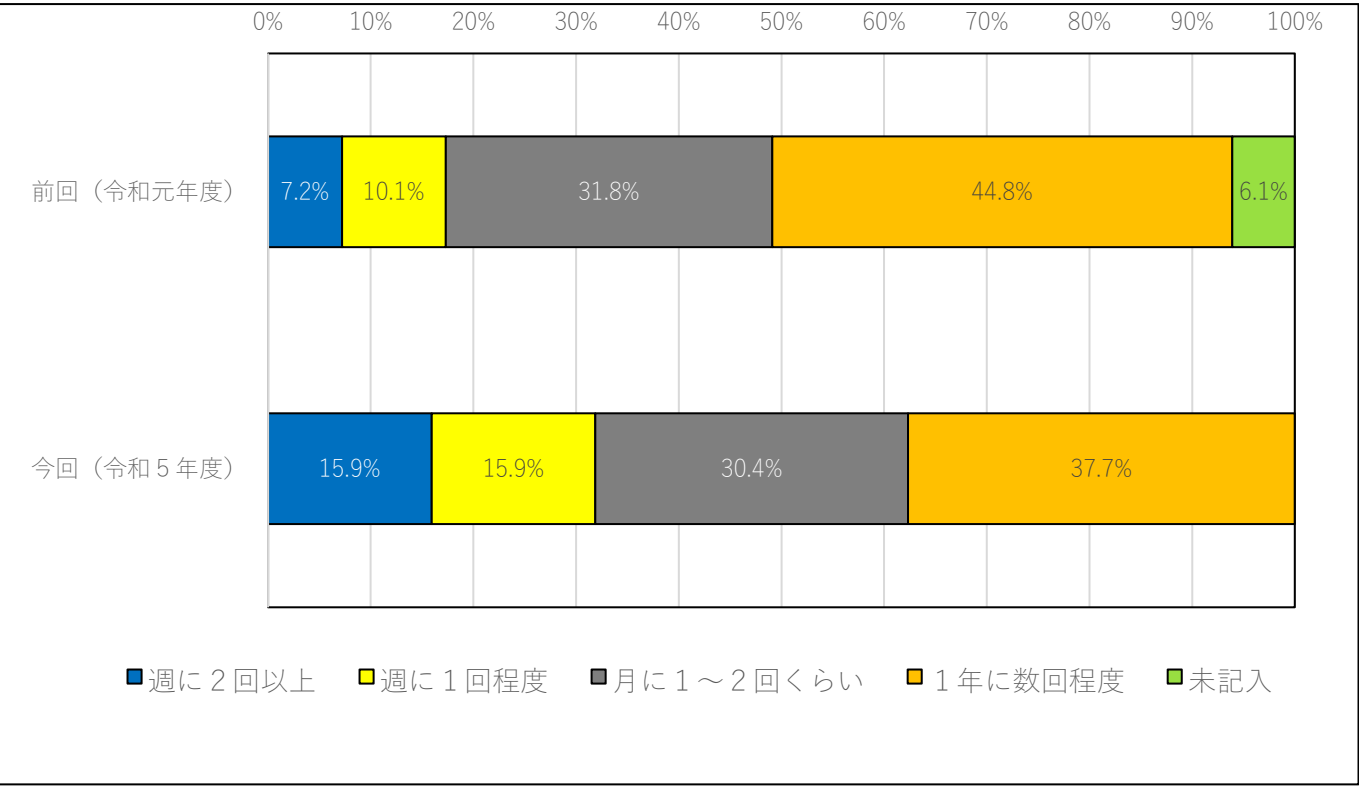


Q22 Q18で「参加している」に○をつけられた方のみお答えください。

地域活動にどのくらい参加していますか。

(1つ選んで番号を記入してください)

【回答数：138件】



【Q22】

- ・ 前回と比較すると「週に2回以上」が8.7ポイント増加しています。
- ・ 前回と比較すると「週に1回程度」が5.8ポイント増加しています。
- ・ 前回より活動する場合は頻度が高くなっている傾向があります。

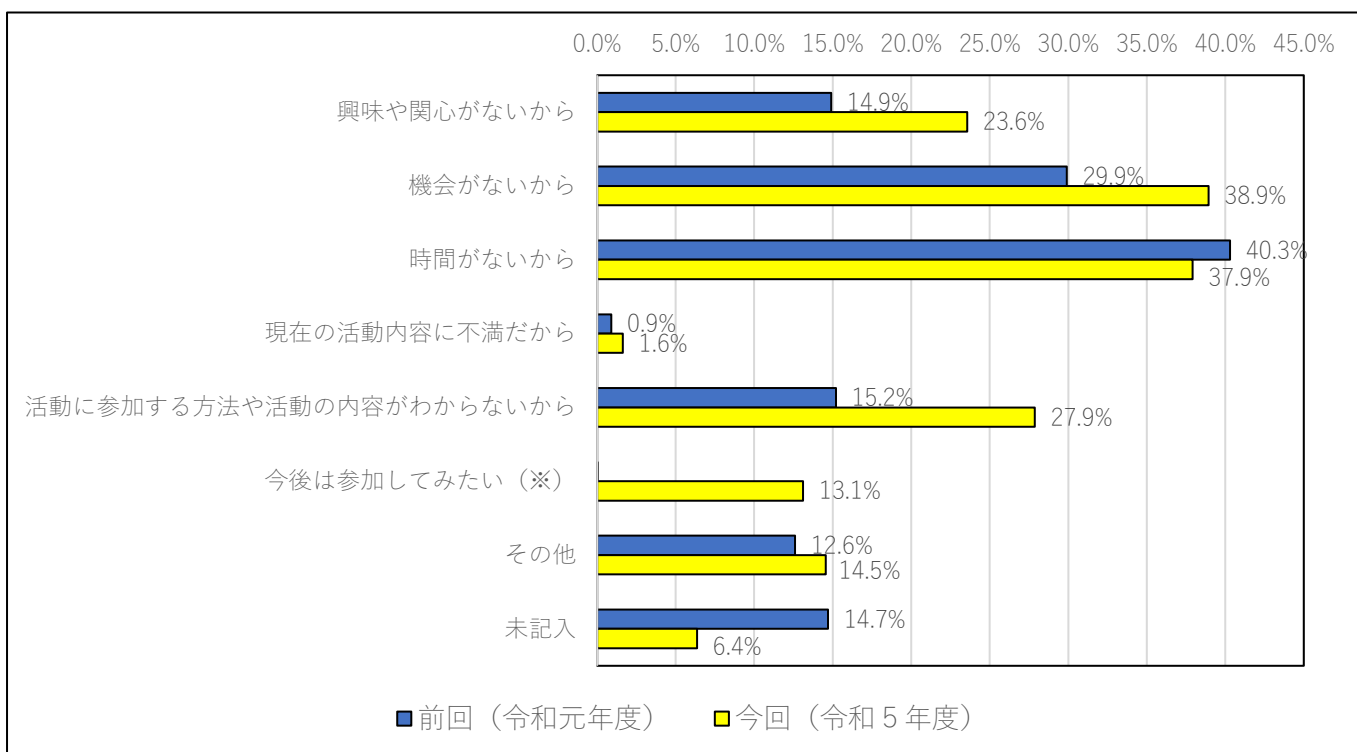
Q23 Q18で「参加していない」に○をつけられた方のみお答えください。

地域活動に参加していないのはなぜですか。

(7つ以内で選んで番号を記入してください)

(※)は今回から追加した回答項目です。

【回答数：488件】



【Q23】

- ・「機会がないから」と回答した人が前回より9ポイント高くなっています。
- ・「時間がないから」と回答した人が前回より2.4ポイント減少しています。
- ・「活動に参加する方法や活動の内容がわからないから」と回答している人が前回より12.7ポイント高くなっています。
- ・「今後は参加してみたい」と回答している人が13.1%います。思いがあっても方法等がわからないため参加を控えている人が活動できるように、情報発信する対策を検討する必要があると考えます。

【その他（主な意見）】

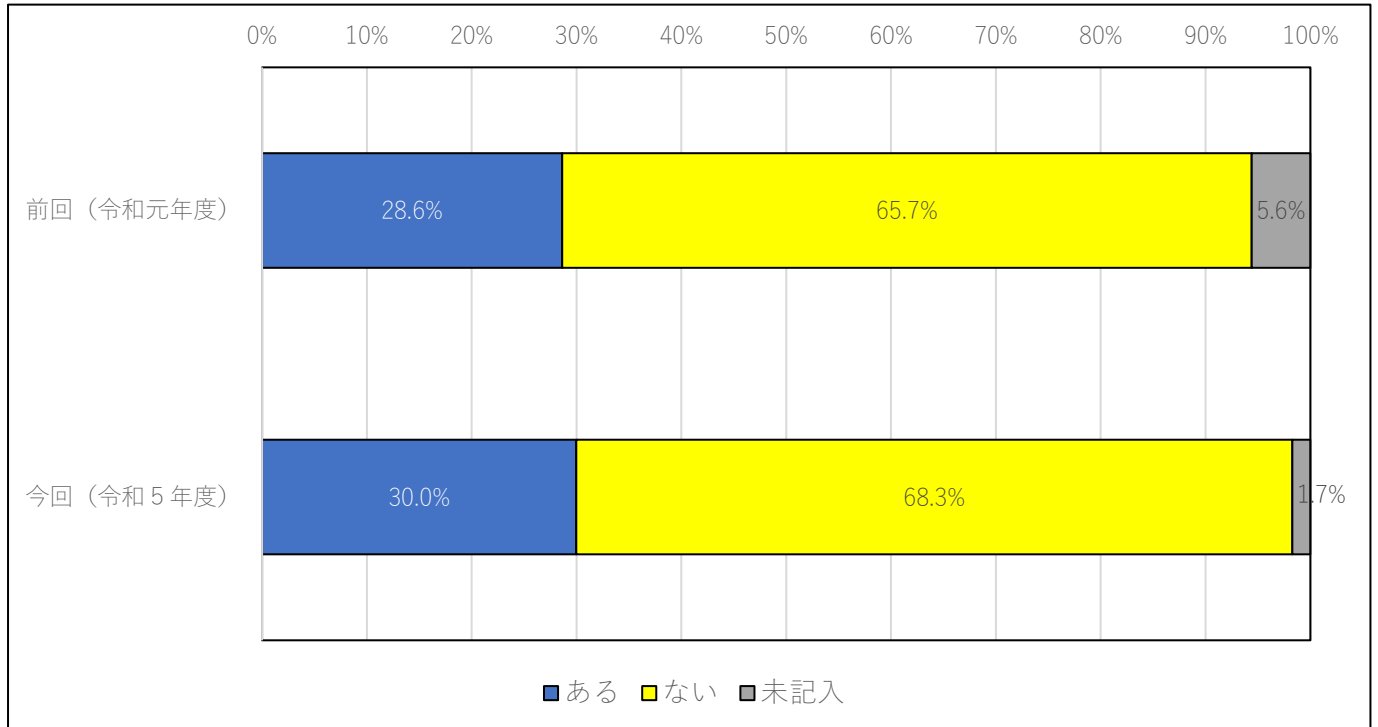
- ・健康上の理由
- ・高齢のため
- ・対人関係が不安なため
- ・仕事のため平日の活動に参加できないため

5. ボランティア活動について

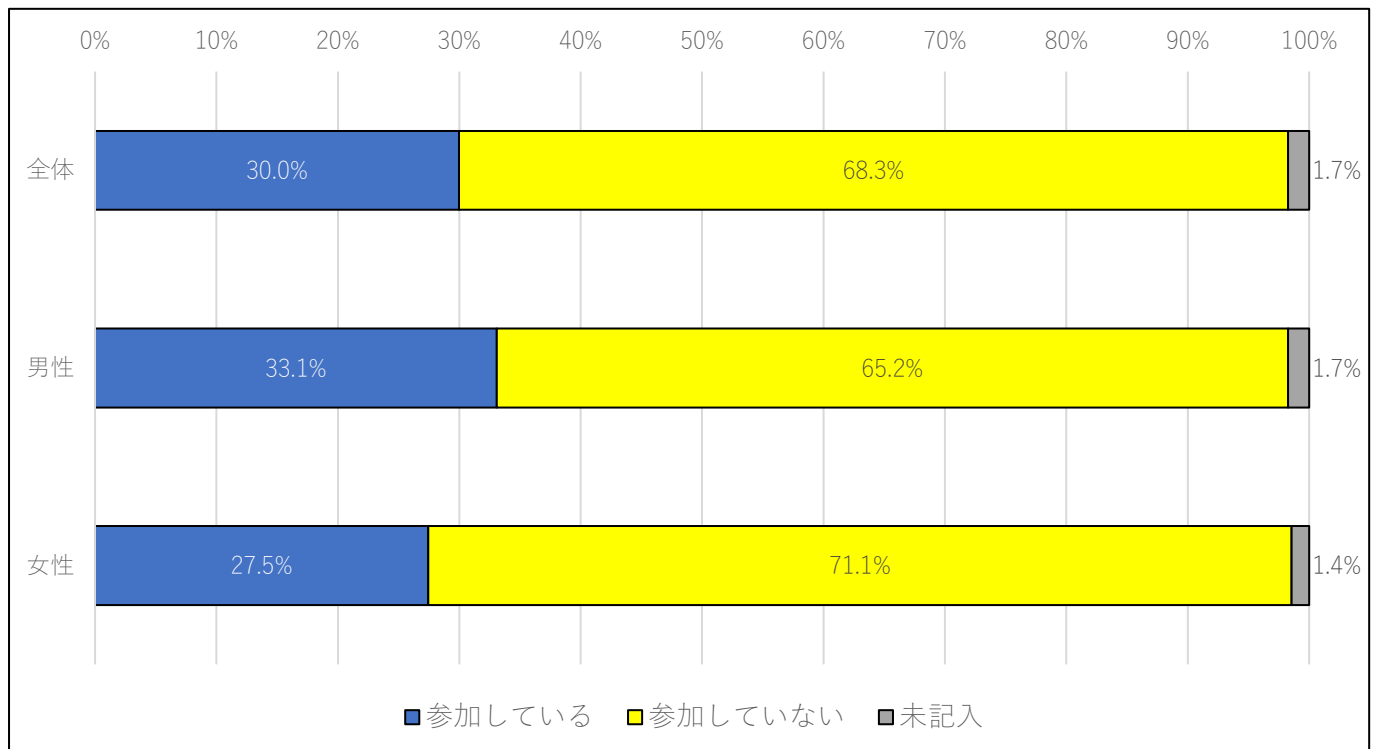
Q24 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。

(○をひとつだけ記入してください)

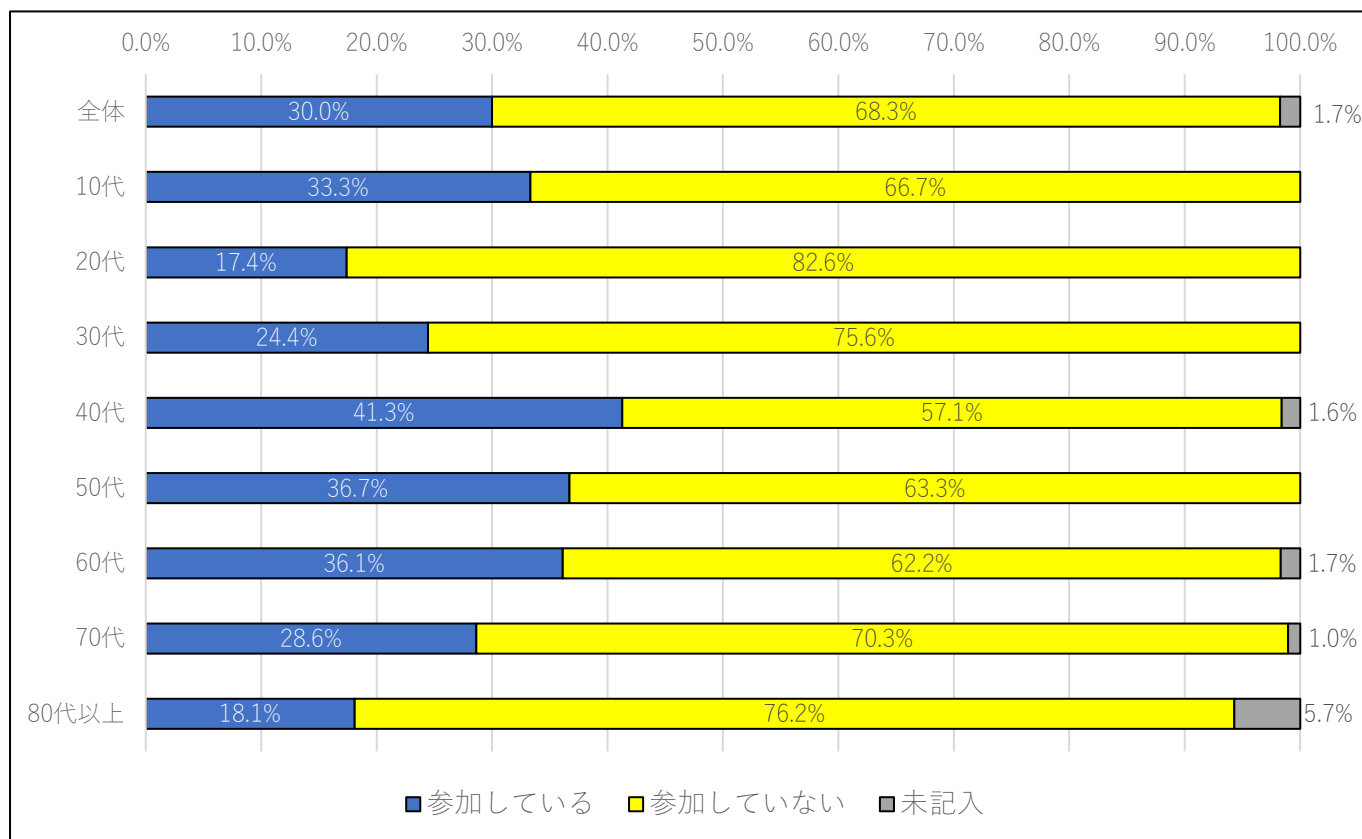
【回答数：637 件】



【(性別) 比較】



【(年代) 比較】



【Q24】

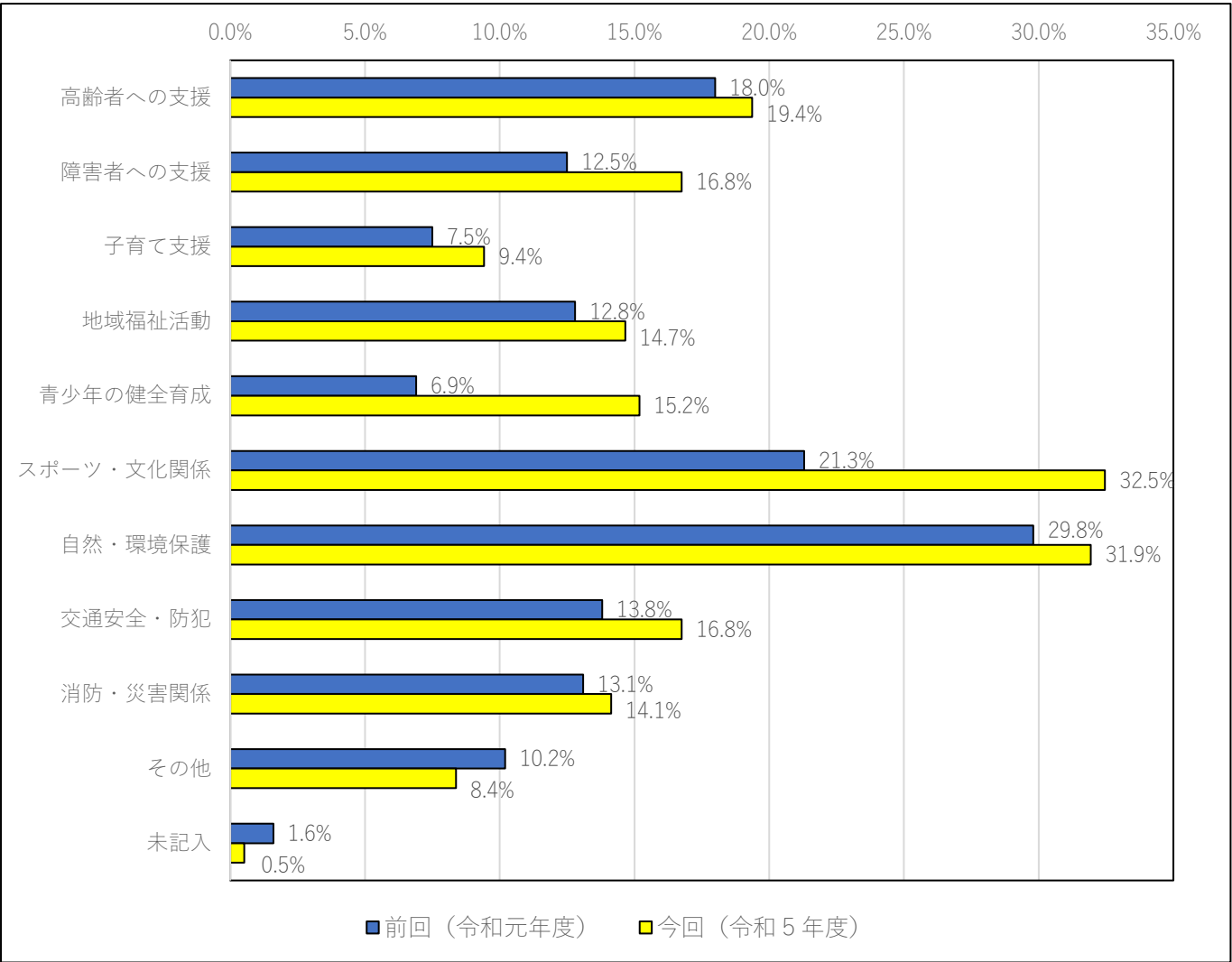
- ・ 前回より「ある」が1.4ポイント増えていますが大きな変化はありません。
- ・ 女性より男性が「ある」と回答している人が5.6ポイント高くなっています。
- ・ 40代が「ある」と回答している人が一番高くなっています。

Q25 Q24で「ある」に○をつけられた方のみお答えください。

あなたがした（している）ボランティア活動はどのような内容ですか。

（10 つ以内で選んで番号を記入してください）

【回答数：191 件】



【Q25】

【その他（主な意見）】

- ・ 地域清掃
- ・ 観光ボランティア
- ・ 施設や病院での演奏

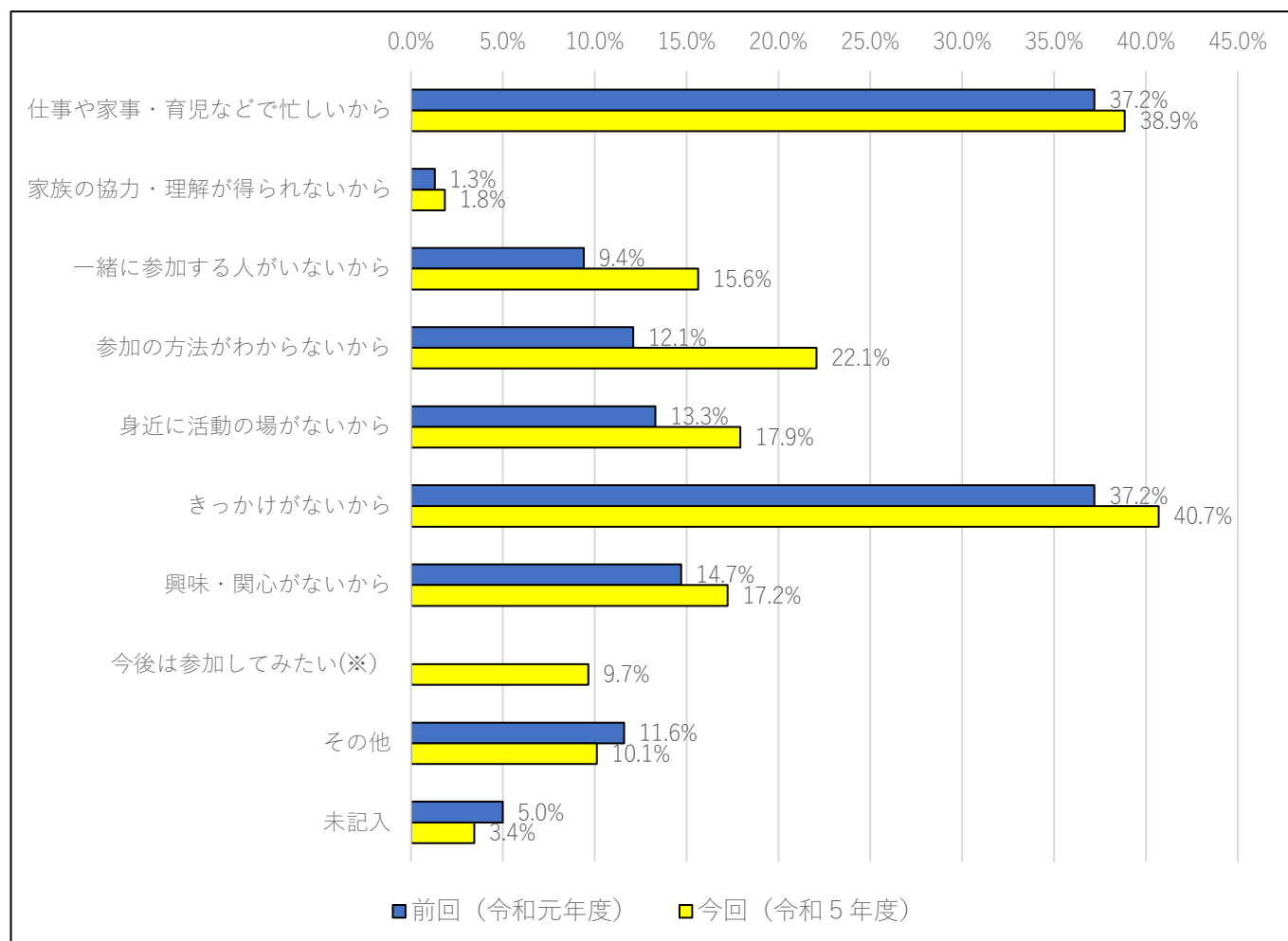
Q26 Q24で「ない」に○をつけられた方のみお答えください。

ボランティア活動したことがない理由は何ですか。

(9つ以内で選んで番号を記入してください)

(※)は今回追加した回答項目です。

【回答数：435 件】



【Q26】

- ・「参加の方法がわからないから」と回答した人が前回より10ポイント高くなっています。
- ・「今後は参加してみたい」と回答している人が9.7%います。地域活動と同様に思いがあっても方法等がわからないため参加を控えている人が活動できるように、情報発信する対策を検討する必要があると考えます。

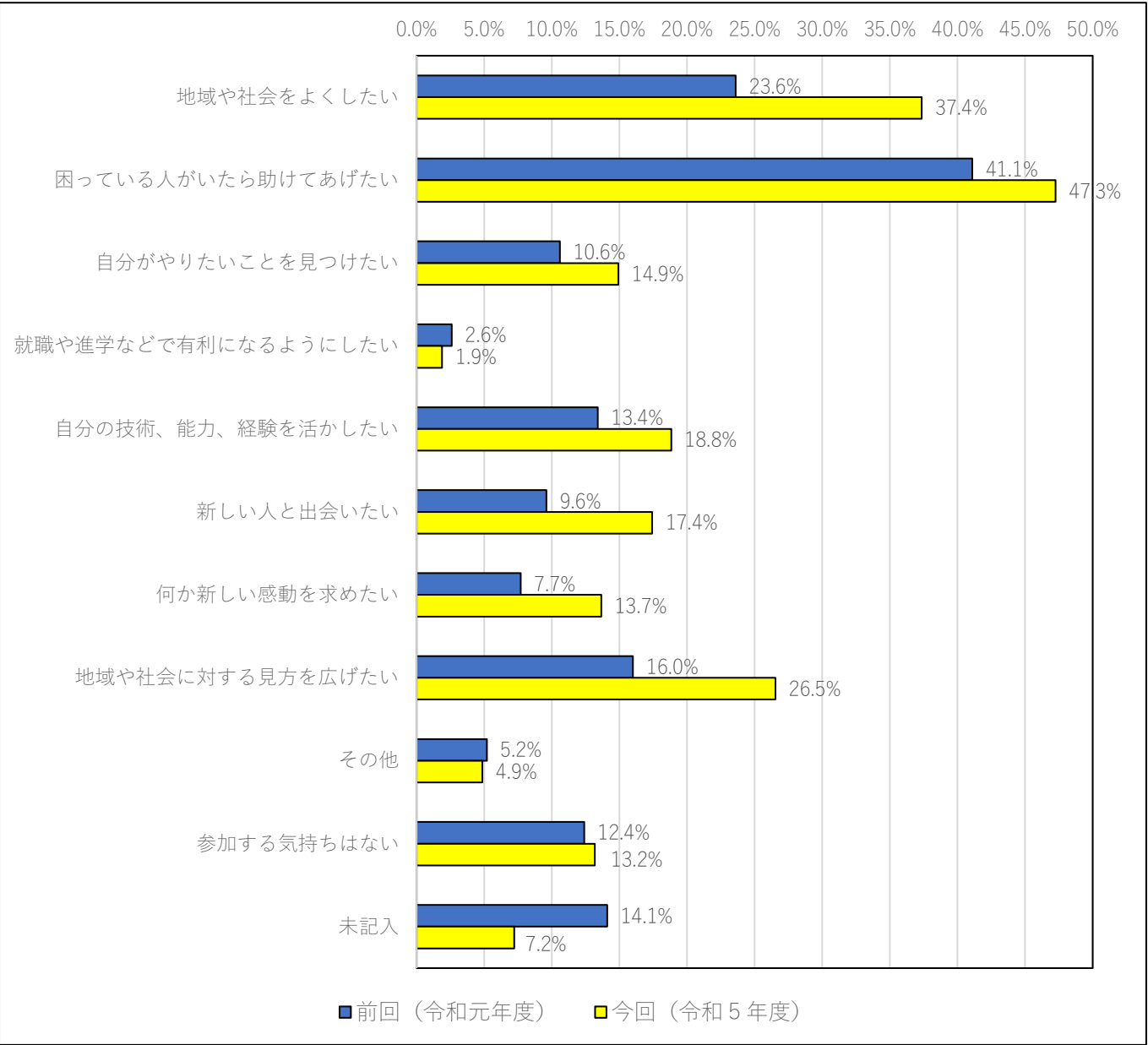
【その他（主な意見）】

- ・健康上の理由
- ・高齢のため
- ・自分のことで精一杯なため

Q27 全員にお聞きします。

ボランティア活動に参加したとき、または、参加したいと思うときは、どんなことが動機ですか。（10 つ以内で選んで番号を記入してください）

【回答数：637 件】



【Q27】

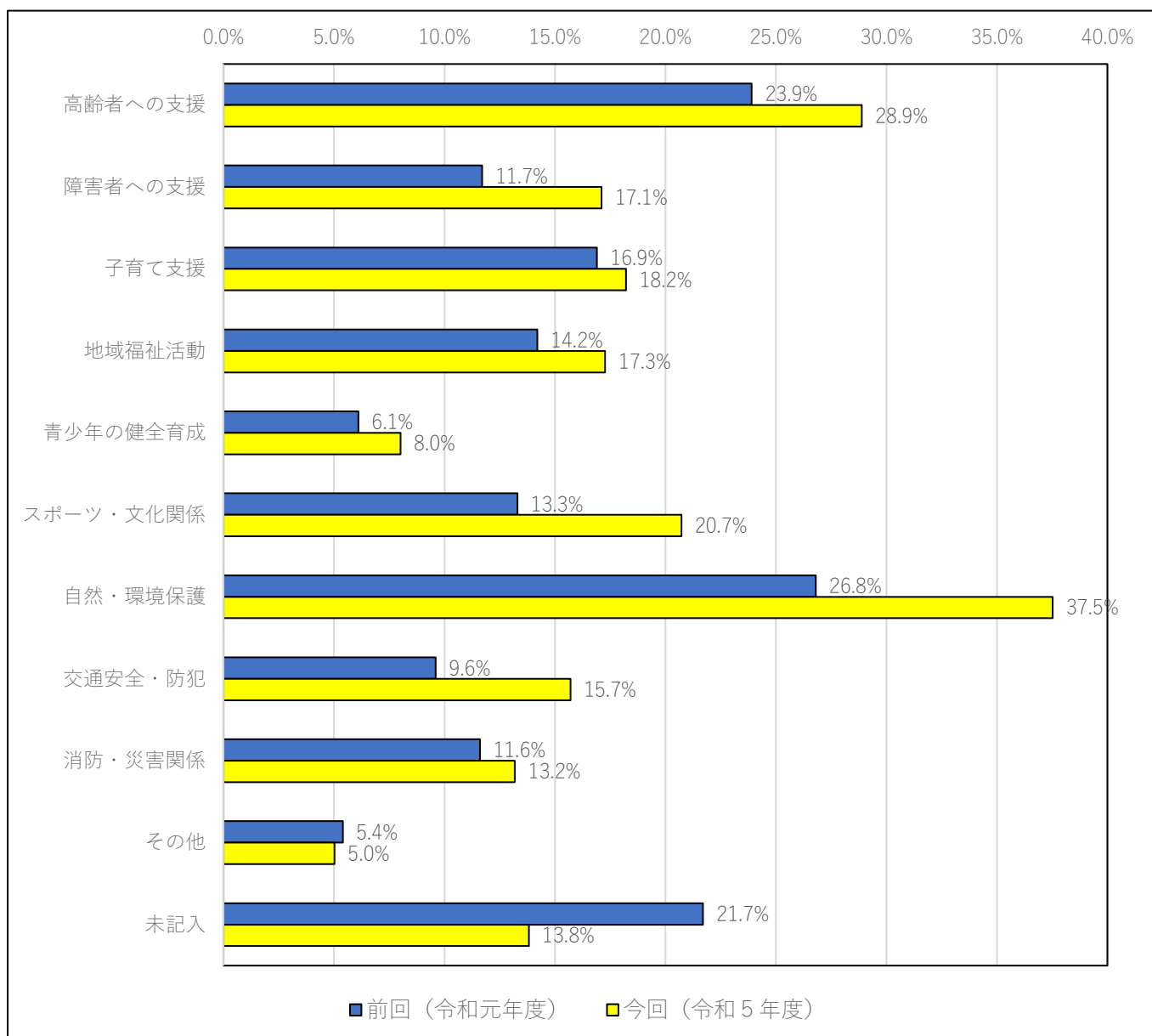
【その他（主な意見）】

- ・ ボランティアという名の義務
- ・ ボランティア内容に興味があれば
- ・ 良い事すると気分が良いから

Q28 あなたが今後ボランティア活動に参加するとしたら、どの活動に関心がありますか。

(10 つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数：637 件】



【Q28】

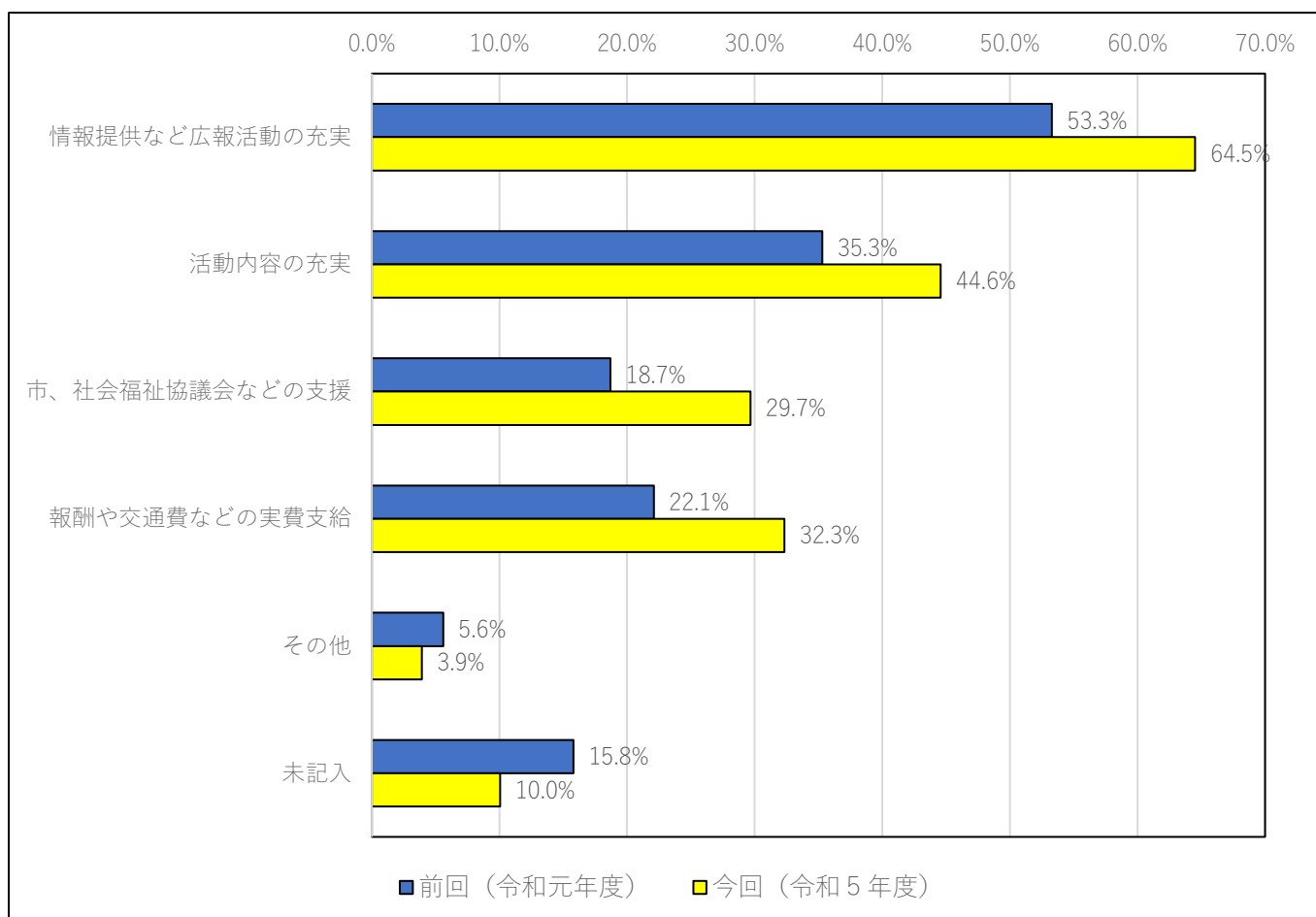
・「自然・環境保護」が前回より 10.7 ポイント増加しています。

Q29 全員にお聞きします。

ボランティア活動に参加しやすくするために重要と思うことは何ですか。

(5つ以内で選んで番号を記入してください)

【回答数：637 件】



【Q29 その他（主な意見）】

- ・拘束される時間や、業務の難易度の明確さ、当該活動の目的や目標の明確さを明示する。
- ・個人で活動したい人もいるので、受入れ支援する公的協力(広報、拡散、紹介)
- ・ボランティア活動中の子どもの預け先

6. 福祉に関する意見について

Q30 福祉に関するご意見がありましたら、ご記入ください。

《主な回答》

【子育てに関すること】

- 児童福祉に力を入れて欲しい。(40代・男性)
- 医療・子育て支援にもっと力を入れてほしいです。特にひとり親なので生活が大変です。三浦市は高齢者が多いせいかそちらに力が入っていて、本当に困っている人は誰なのか、どういう世帯かを考えていただけると、もっと住みやすくなると思います。よろしくお願いします。(40代・女性)
- 小児科が欲しい。受付の対応が悪くなく腕のいい先生が来てほしい。新生児や乳児をもつ親の交流できる場がほしい。小児に関わらず、オンライン診療とか増えてほしい。(ちょっとした相談窓口) (30代・女性)
- 学校のまわりに街灯が少ないので夜道が危ない。子どもが急に具合が悪くなった時に救急でみてくれる病院が遠すぎる。子どもが遊べる場所が少ない。(40代・女性)
- 子育て支援の充実…金銭的負担の軽減、早めの世代交代、40才未満の独身率の低下 (30代・男性)
- 土曜日、日曜日に子どもを預かってもらえる場所(仕事で)、または施設があると助かります。現在三浦市には、そういう施設がありません。横須賀にはあるらしいけど遠いです。近くにあればよいと思います。(60代・女性)
- 出産直前に横須賀から引越してきましたが、三浦市は子育てがしにくいと感じます。
 - ・駅や路上などに喫煙者が多すぎる。以前市に問い合わせたら駅の見えやすいところに貼り紙を貼ったと回答がありましたが、実際は禁煙の貼り紙の位置も変わっておらず喫煙も減っていない。
 - ・子どもの遊ぶ場所が少ない。遊具がボロボロ。
 - ・保育園が少ない。一時預かりなどの場がほしい。ファミサポは事前に面談が必要で、申し込みを含めると何度も市役所へ行く必要があり、子どもがいる状態では大変。
 - ・街灯が少ない。道路がガタガタでベビーカーを押しにくい。
 - ・産後助産師訪問で来てくれた方はとても丁寧に対応してくれました。産後ケアを使える期間をもって長くしてほしい。
 - ・横浜-横須賀道路の料金があまりにも高すぎる。三浦市の火葬場がボロボロすぎて、わざわざ横須賀を利用した。桜まつりのときに会場まで遠いという声が多い。
 - ・三崎口-三浦海岸の間に電車やバスの駅があった方がよいと思う。(20代・女性)

○もっと子育てしやすい街にしてほしい。公園の遊具をきれいにしたり、屋内の遊び場を作ったり、市営の屋内プールを作ったり、給食費を無料にしたり、他の市がやっている事と同等か、それ以上やらないと三浦市で子育てしたいと思わない。

車がないと不便で、住みやすい場所ではないのに、子育て支援や環境が全くそろっていないので、2人子育て中の親からすると、三浦市に住むメリットが全くない。このままだと、今よりもっと子育て世帯はいなくなると思う。もっと危機感をもって真剣に考えたほうがいいと思う。(20代・女性)

【高齢者に関すること】

○三浦は高齢化が進んでいると思います。高齢者が福祉を受けるだけでなく自ら活動の場を設けて、活性化を図る必要があると思います。(60代・女性)

○三浦市の高齢化、過疎化は、日本の現状を鑑みてもおそらく、止まる事はないのではないのでしょうか。自身も障害があり、高齢の母を持つ者として、不安しかありません。もう市内でどうにかする時期は、過ぎたように思います。どうか、外部に助けを求める事を検討して下さい。(40代・女性)

○現在、高齢者が8割以上かと思えますし、一人世帯も多いようです。近場の人同士で声掛けしているが、あまり交流を望まない人も多数いる気がします。無理矢理声掛け出来ませんからね…。多分ですが、「なるようにしかならない」と覚悟している方が多い気がします。福祉と言われましても、それぞれケアマネージャー又ヘルパー、訪問看護師さんで対応できている様子です。ありがとうございました。今後も見守っていただけたら、心強い気持ちで三浦に住んでいかれる事と思いますので宜しくお願いします。(70代・女性)

○三浦市には、元気な高齢者が多いが、健康に長生きできるように、また、地域の中で孤立しないように各々に合わせて活躍できる場があるとよいのにとと思う。(60代・女性)

○市内に高齢車用の無料バスがあると良い。(病院へ行く、買物へ行くなど)

運転は出来ない、歩行困難等で交通手段がない、福祉利用もお金が掛る、手続きは高齢者には出来ない。高齢者に運転(免許返納)させるわりに対応がされていない!!(50代・女性)

○老々介護支援・親の介護の離転者支援・老人世帯に対する移動支援(通院、買物等)、タクシー・交通機関を支援・補助しながら気軽に安価で利用出来る手段の設置対策(70代・男性)

○老人になり運転が出来なくなったら買い物や病院へ行くのも、三浦の地形は平坦では

ないため、足腰も弱ってバス停が遠い人は、荷物を持ってバス停まで歩くのも大変になると思います。家族のいる人は家族の支えがありますが、一人暮らしの老人や、病気の老人、老夫婦はどうする事も出来なくなってしまい生活に支障が出てきてしまう事を心配してしまいます。そんな時に相談や協力、サポートしてもらえるとありがたいと思います。(60代・女性)

○まだ若いつもりでいたのに確実に年を重ね老人であることの実感。いつ福祉のお世話になるかも知れませんが、出来る限り元気で毎日を楽しく過ごせたらと思います。なるべく人様の手をわずらわせずに、暮らしたい近所の老人に対する三浦の介護は手厚いように見えるので心強いです。(近所の3人程度しか知りませんが福祉関係の方が訪問して介護にあたっているのを見て、いたれりつくせりだと思えました。在宅介護は素晴らしいシステムだと思えます。)(70代・女性)

○以前在宅介護していた要介護5の歩行困難の義父を、夜間に高熱などの症状が出たため救急車で緊急搬送しました。診察後、入院にはならなかったため、自宅へ帰ろうとしましたが、帰る手段がなく困った事がありました。自家用車には乗れず、もちろんタクシーにも乗れず、介護タクシーの様な車イスごと乗乗出来る車を夜間だったので手配が出来ず大変困った事がありました。そんな時はどうしたら良いのか教えて下さい。(60代・女性)

○老人ホームの入居が平易な金額でできる施設の充実及び必要数の確保(60代・男性)

○現在、ケアマネージャーやヘルパーさんに介護対応をして頂き、大変ありがたく思っています。今後も介護される人は年々増えていくと思います。介護する人達の地位向上・報酬増加を願っています。三浦市の人口減少が懸念されます。横須賀市との合併を希望致します。(90代・女性)

【障害者に関すること】

○横浜、横須賀のような他地域のようにハンディーキャップ(障害者)の支援を充実させる金銭面及び施設。施設は市全体一体化、元学校跡地施設などを再活用(40代・男性)

○昨年11月末に胸腰頸椎体骨折し、病院や買い物に不便を感じました。(特に米等重い物やレジ台にカゴを乗せる時)気軽に声かけが出来る仕組みがあれば助かります。ただ高額な費用がかかると利用出来ません。また、自分で車を運転し何度か病院へ行きましたが、病院への送迎だけの時だけでも頼めると楽だと思います。もっと若い人達に積極的に福祉活動に参加してほしいです。まずは小中高校で福祉の大切さを授業等で教えて理解を深めてほしいです。人はいずれ年をとります。年をとってからのボランティア

は活動に制限があり、なかなか難しいです。また、障害者を偏見の目で見ないでほしいです。一人ひとりが身近なところから始められる様になるといいですね。(70代・女性)

○障害者に対して支援がたりない。(70代・男性)

○ちょうど1年前に障害認定を受けました。等級は体幹、下肢機能障害5級ですが、障害福祉課では等級のマニュアルで判断され、支援が薄いと思います。たかが5級だと思われがちですが、理解していただけない生活上の苦痛などわからないと思います。股関節が現在、健常足の1/3しか曲がらず、階段の上り下り、しゃがむ、屈曲も困難で連続歩行(1km歩く)すると足、股関節に痛みが生じます。

今年の8月に三浦市立病院で膀胱機能障害と認められ、これも障害認定の格上げになるのかと思い、障害福祉課に問い合わせた所、説明もなく診断書をいただいたか聞かれ、直接病院に持って行くと、ストーマや人工肛門の方では無いと、障害認定の対象とはならないと言われ病院で赤恥じをかきました。最初から親身に説明してくれていれば、恥をかくことはなかったと思います。最後に申します。私が障害者認定を受けた理由は、ただやみくもに取得したい訳ではありません。当時受けた怪我の後遺症が認定対象になるのか、自分の現在を知りたいし就労の際に理解してもらいたいがために障害者認定を受けたのです。障害者福祉課の方々、もう少し知識と理解を持っていただきたいものです。(50代・男性)

【ボランティア・地域活動に関すること】

○福祉活動については、ボランティアを前提として考えることが多いと思うが、無償ボランティアでは続きにくい。他者の労力や財物の助けを得て行われる以上、有償ボランティアをもっと取り入れる方がよいと思います。日本を除き、ボランティアと言えば、有償ボランティアが一般的なようです。高齢者、障害者、児童等々の分野はありますが、その分け方は行政的な、あるいは福祉学の分野としての見方であり、そのような曖昧な分け方では有効な活動ができるとは思えません。もっと「行為」に着目して案を策定した方がよいと思います。例えば、ゴミ出しなら、高齢者も障害者も具合の悪い人も関係なく、必要な時には必要です。福祉活動そのものが尊いわけではなく、より良い住環境を維持するための活動に意味があります。(60代・男性)

○地域福祉活動は「自分が参加したい」という気持があっても、仕事等で時間が取れない、生活に余裕がないなど個人の生活環境が大きく影響すると考えます。従って公的機関等の主導(支援を含む)する事業に時間が許す範囲で参加しているのが現状ではないでしょうか?このようなアンケート調査で地域福祉がより良くなることに期待します。

(70 代・男性)

○福祉活動に参加するきっかけや動機、導入の部分がわからないというか、とまどいがある。また参加することによってのメリット、デメリットもわかると良い。(50 代・男性)

○ポテンティア活動の見える化がすすむと良いなと思います。私を含め関心が低いのは、情報を受けるチャンスが少ないためだと思います。(60 代・女性)

○ボランティア活動は本人にやる気があって、やれる人(時間がある人)に限定すべきだと思います。ボランティアとしての PTA 活動参加のために、何度も会社の半休をとって活動に参加しました。会社の会議に参加できない理由が、ボランティア活動に参加するためというのは理由として認められますが、その実態には問題があると感じました。ボランティア活動自体が意味のある活動であるべきだと思います。(40 代・女性)

○子どもも大人も参加しやすい活動が増えるといいなと思います。市民センターでの卓球、太極拳などの活動はとても助かっています。通いやすい金額も助かります。情報発信もスーパーで確認できたりすると、活動内容も知れていいのかなと思いました。(30 代・女性)

○各地域での集会や会合の場で、地域福祉活動報告を写真等による説明を積極的にして欲しいと思います。(60 代・女性)

○他人との関わりは難しいです。頼りたくない人もいらっしゃる。福祉=ボランティア的なものは、時代遅れのような気がします。(60 代・女性)

○地域での活動に、読み聞かせ(学校でやるものや、サークルでやるものなど)があり、興味がありますが、農家なので、家族の協力が得られず、家事もやっているので時間を取ることができません。親世代の考えを変えることはあきらめているので、自分が上の代になったときは、もっと楽しく参加できるように下の世代にはさせたいと思っておりませんが、物価高、賃金高騰など、農家の先行きもわからないので、次世代が農家でやっていけるのか日々思い巡らせています。とりあえず家で子どもへの読み聞かせを楽しんでいます。剣崎小学校が閉校して、校舎や体育館で何か活動があれば、夜など参加できると思います。あと、民生委員さんなど出産時に来てくださった方はいましたが、連絡はすることなく、そのまま終わってしまったので、今なら SNS など活動内容などお知らせ頂ければ相談しやすいかなと思いました。(30 代・女性)

○楽しめる活動をしたい。子どもたちと一緒に出来ること等。運動だけでなく、今流行しているゲームなどもいいなと思う。子ども達には車椅子体験など公共施設や歩道などでやって欲しい。観光にくる人の案内など。落語を聞いて古典芸術に触れる。夏頃グラウンドゴルフを小学校 4.5 年生とやり楽しみました。ルールも簡単で子どもでもできるの

で地域交流の機会になると思いました。(70代・男性)

○何かお手伝い出来る事があればしたいと思っています。簡単に参加できるような仕組みがあればいいなと思います(40代・女性)

○私は老人クラブに加入していますが、一般的に福祉と言ってもあまりにも大きなテーマなため良く分りません。本クラブの平均年齢は現在 83.6 才です。毎年「社会福祉の日」として 9 月 20 日が全国運動として設定されています。しかしながら会員数は約 40 名おりますが、実際に活動に参加出来る人数は限られており、入院したり、老人ホームに入居したりする方も少なからずおり、将来の展望に期待が出来ません。介護予防として自治会館で体力づくりとして簡単な体操、あるいは認知機能を高める為に脳トレ等も行なっています。この様な活動をより発展させて行くには、新規加入者を増加させる必要があると思いますが、その手段がなかなか見つかりません。魅力ある組織とはどのようなものなのか?今後の課題です。ただ、この老人クラブの中に友愛チームと言う組織を作って現在活動中です。これは老人クラブの地域の中にクラブ員を中心として地域住民を対象に最低でも 9 人以上のメンバーが加入して、この中から「対象者」を決めて(3 名)この対象者を残りの 6 名で毎月何回か戸別訪問し見守って行く、又サロンを開きお茶を飲みながら会長が情報提供を行なう、あるいは対象者が日常生活の中で困り事があれば援助する等して本会を運営しています。この様にクラブだけではなく地域住民を取り込んだ活動をしていけば、自ずとクラブへの加入者が増えてくるのではないかと希望を持ちながら日々活動しています。さらに地域住民の日常生活上の問題点を協議する共助グループの定例会も年 3 回程度開催しています。(70 代・男性)

○福祉活動に興味はありますが、何をやるのかやっているかなどの情報は入ってきません。「こういうのをやっています!」「参加しませんかー?」などの宣伝もあればと思います。(60 代・女性)

【相談・窓口対応に関すること】

○福祉に関して現在携わっている人は大変だと思います。生活・障害福祉を受けていられる方は当然のごとく強い口調で話をしてくる方が多いと聞きました。障害福祉の方は病気の方もおられるので無理もないのですが、特に対応するにあたり怒鳴りつけられたりすることもあります。

福祉に関して市民のみなさんが共通の考えを持たなければだめだと思います。共通の考えを具体的に表わせないことは申し訳ありませんが、ひとりひとりが福祉に関して関心を持てば自分がその立場になればわかるかも知れません。(70 代・男性)

- 高齢者（私もそうですが）が町内にも増えました。近所の助け合い、声かけが必要な事が感じられます。まわりの方との協力はかせません。公共の機関との連絡を密にしていきたいです。なかなか最初の一步がでないのですが。（70代・女性）
- 代理に記入させていただきました。娘です。年老いた両親2人で住んでいます。遠くに私が住んでいるのですが定期的に様子を見に来ています。福祉の手续に市役所に行くことが多いのですが、病院の手续はすぐに行なわなければならないので、母親はだいぶ大変な思いで、時間もかけ市役所に行かなければなりません。せめて、市民センターなどで手続きが出来れば助かると思います。（80代・男性）
- 新しい市役所の完成が楽しみです。（現在は場所等不便なので）（30代・女性）
- 困っていることを表に出さない田舎の風土があり、かなり福祉弱者を見つけにくいと思う。あと自分が福祉弱者だと気づいていない人も多いと思います。年輩の方など回覧板をよく読んでいるようなので、そこに具体例などを載せて、「こういうサービスがあり、ここが窓口ですよ」みたいな形で情報を発信して受け取ってもらうのも良い策ではないでしょうか。（50代・女性）

【情報提供に関すること】

- 困ったことがあった時、まず、どこへ連絡すればよいのかわからない、ということがよくありました。特に、幼稚園入園前など、他との繋がりが少ない時、情報が少なくて、困ったことがあります。もう20年近く前の話なので、今は変わっていると思いますが、市役所というのは、なんだか電話のしにくいところでした。どんな内容でも受け付けて、必要な情報を教えてくれる、分かりやすい窓口があれば、良いなと思います。あと何年経っても公園が出来ないのが残念です。情報交換などの大切な場だと思います。（40代・女性）
- 子どもが巣立ち、夫婦、ペットで楽しく過ごしていますが、福祉や医療その他三浦市で生活することに少し不安があります。まずは、ネットなど発信力を強めて欲しいです。情報が市民すべての人々に、伝わる様にしていきたい。実家の市では「お互いさま活動」という、地域での助け合い活動があります。とても良い活動だと思いますが、ある一部の人へ負担が多く、少々問題点もありますが、三浦市も参考にするといい点もあると思います。（50代・男性）
- 昔からの住民との交流がむずかしい（心を開いてくれない）、地域活動のすすめがなく、何もわからない。新しく住んで来る住民が若物だと交流が出来ず、孤立感を感じ、若い家族だと共働きが多くお話しする機会もない。高齢になると自分から、それなりの

年齢の集まりに参加しようと思うが、お誘いの情報がほしい（70代・女性）

○うらりや引橋の市民コミュニティセンターの様な商業スペースの中に喫茶室みたいな気楽に使える憩いのスペースがあると買物ついでに休憩しながら交流できるのでうれしい。そこに福祉に関するパンフレットや情報誌があるといいと思う。（60代・男性）

○配布物などで情報を載せてもらっているのは助かります。ただ、自分が必要な情報のみを取捨選択をしてしまうので、いざ自分が必要な立場になった時に、初手の相談場所が分からなかったりするのが実情です。まずは、市役所に聞いてみるというのが、自分のやり方にもなってしまっているのですが、具体的にどの部署に相談していいのか分からなくて連絡する手前で行動を止めてしまうこともあります。該当の場所に行けば、丁寧に教えてもらえますし、他の案内もしてもらえるのですが。身近なところの相談相手がいないのもあるかとは思いますが。役所関係の配布物もこのくらい大きな文字だと見やすく良いのですが、小さく、薄い文字のプリントは、年寄りには、読みにくいです。（50代・女性）

○インターネットをもっと活用してアンケートや情報提供等をより簡単にした方が良いと思う。（60代・男性）

○三浦市民(広報紙)等にもっと福祉に関する情報を具体的に載せて欲しい。（70代・女性）

【災害に関すること】

○首都直下型地震が起こる可能性が高まっていることから、市民の防災意識向上のための活動(防災訓練の充実、避難場所の周知、災害発生時の住民の対応要領整備等)により力を入れてほしい。障害者に優しい街作りを進めてほしい。(階段、坂への手すりの設置、休憩用ベンチの設置等)（60代・男性）

○老々介護問題、主人が車いすの為災害の時（地震の時など）に私1人では外にも出られません。そんな時は、どうしたら良いか心配です。（70代・女性）

○コミュニティバス等、市道を走るバスがないと買い物に行けません。市内巡回バスで住宅地まで来てもらえると行動しやすくなると思います。災害時の避難所が遠すぎます。徒歩圏内で行ける所ないと利用できません。（60代・女性）

【施設・環境に関すること】

○三浦市に住んで約15年の母。すでに91才で介護付き有料老人ホームに入居しています。アンケート用紙を理解はできません。家族(長女市外在住)としての気持ちを書かせていただきます。高齢者の方々の中は、まだまだ、世の中の役に立ちたいと考えている

- 人も多いと思います(母もよく話していました。)。高齢者と保育園や幼稚園など、または学童の子ども達と一緒に過ごせる場所が増えるとよいと思います。(90代・女性)
- 三浦海岸駅の外にある公衆トイレを和式から洋式に替えて欲しいです。困っています。(30代・女性)
- 夜に外を歩くと、暗さに戸惑う事があります。(特に冬場)街灯が少ない所があり、信号もなかったりするので小さいお子さんや高齢の方々は特に怖い思いをした事があるのではないかと思います。車の運転手さんにとっても運転しづらい環境かと思うので、もう少し街灯が増えたらいいなと思います。(40代・女性)
- 交通機関の充実、バス停、駅までが遠く老後の移動手段がなく心配(交通網がない)。街灯が少なく夜道が暗い。子どもなどの防犯面からも増やしてほしい。(30代・男性)
- 健康・福祉で三浦市に公共のプールが望まれます。横須賀市の公共プールの利用もありますが、三浦市民が利用すると非常に高くなります。(60代・男性)
- 福祉かわからないのですが…三浦海岸駅周辺(特に高架下あたり)にポイ捨てされたゴミがたくさん落ちているのが気になります。もしボランティア等で定期的に清掃活動をされているなら参加したいとは思いますが…。きれいな街になってほしいなと思います。(30代・女性)
- 各公園、団地内など、遊具なども見直す。公園環境の充実。(60代・女性)
- バリアフリーの街づくりは早急にお願いしたいです。三浦市に引越して20年近くになりますが、歩道の段差がとても多く健康な人でも危険です。街灯が少なく暗くなると怖いです。市民が安心して出掛けられる街にして頂きたいです。よろしくお願いします。(60代・女性)
- バイク、自動車を廃したので、交通の不便を感じます。(90代・男性)
- 20年間夫の両親を在宅介護し、地域包括支援センターには大変お世話になりました。それ以前に社協でもお世話になっていましたが、ケアマネさんの資質(情報量や人間性まで)は、介護者のモチベーションに大きく影響すると思います。変更させて頂いたケアマネさんに適切な情報や提案を頂き、訪問して下さったみなさんに励まされ助けて頂き、二人を見送ることができました。どうか、介護される側、介護する側、両方の気持ちを理解する教育がされたケアマネさんが、私自身がお世話になる時もいてくださるよう望みます。健康増進の観点では、三浦市は大変劣っていると思います、スポーツに関して、プールがないのは、恥です。私は横須賀市民プールに横須賀市民の×2の料金(800円)を支払い利用しています。グラウンドもないです。関節に不安のある高齢者は坂の多い三浦市の公道を走ったり歩いたりするより、グラウンドや大きな公園を利用

した方がいいはずと思います。(60代・女性)

○高齢者の域に入り、趣味等気の合う仲間との集まりを楽しみにするようになりました。しかし、その活動の場所として使える施設が少なく場所探しに苦慮しています。年をとっても楽しく過ごせる時間を確保する為にも、是非、市内各所に利用できる施設(部屋)を設けて欲しいと思います。(70代・女性)

○施設の外観、内装を明るくすれば気軽に寄れると思う。中途半端に改修するのは、やめて欲しい。(50代・男性)

○今住んでいる所はタクシーの入らない場所なので、今はまだ免許は返納してないので、妻の病院、買物等の送り迎えは出来ますが、出来なくなったらと心配しています。(70代・男性)

○この地域に住んで10年弱、環境は良いが買物、病院等の足がなく不便この上ない。三浦市立病院の診療科目をもっと充実して頂きたい。例えば泌尿器科、循環器等は横須賀まで行かなくてならず、1日かけで体もお金も大変です。(70代・女性)

○高齢者が利用しやすい(または高齢者に特化した)ジムがあるといいと思います。(50代・男性)

【全般的なこと】

○保育士の給料が低いのはなぜでしょうか。介護職なども待遇が低いように感じますが、医療の現場と同様に命を預かる仕事であるため、地域などで手当を付けて処遇改善に一層努めて頂きたいです。また、若者が地方から出ていくのは何かと不便だからだと思います。保育士として働くにしてもキャリアアップも望みにくい所は懸念すべき点であるように思います。(10代・女性)

○三浦の自然や環境の良さをもっとPRし、若い人が移住して来るようにして欲しい。老人ばかりでは、福祉にならない。自然環境は素晴らしいが、文化環境がおそまつ。図書館の充実をして欲しい。(70代・男性)

○英国に住んでいた時の経験ですが、教会でコーヒー・紅茶を30~50円位で提供し、軽くクッキー等も付いていました。客も対応も高齢者が行い、コーヒーはインスタントです。居場所を提供し、生活リズムを整える事で、認知症の予防にも良いのではないかと思います。また、何げないスペースにベンチが置いてあり、散歩の途中で座れる配慮もありました。“ゆっくり生きていこうよ”とやさしい町三浦であって欲しいと思います。歩道をしっかり整備して下さい。お願いします。(60代・女性)

○福祉。このアンケートをちゃんと読んで、理解できる前提で送っていただいていると思

いますが、世の中多様になり理解できない、読めない方が増えています。さて、そういう方への配慮はどうしたのでしょうか。仕事先で、指示が読めない。計算ができない。福祉って広い分野ですが「福祉→年より」と思いがちですが、若い人へも目を向ける必要もありますね。日本人と結婚した外国の方。(60代・女性)

○だんだん年をとり、ふだんの買い物が心配です。ネットで買い物を出来るようにしていますが、実際に品物を見て買い物をしたいです。三崎地区はスーパーのバスが走っているようですが、初声地区は走っていません。市からスーパーに働きかけをしてほしいです。また、三崎口駅、三浦海岸駅に行きやすくするため、コミュニティバスを走らせてほしいです。または、京急に駅に行きにくい場所に「100円バス」を走らせるよう働きかけをしてほしいです。仕事をしていた時の知識を生したボランティアをしたいと思っています。情報を広報等で知らせてほしいです。(70代・女性)

○福祉へ関係する人材が少なすぎるので育成に力を入れていただきたい。(50代・男性)

○城ヶ島公園に、外注でよいので、やきそば等おやつのキッチンカーの呼びよせ、1日居られるように昼食、軽食販売、スベリ台等の遊具の設置、よこすかソレイユの丘の小さい規模であればゆっくりできると思います。(50代・女性)

○このアンケートに答えながら、あらためて、考えさせられました。三浦の人口構成を考えると、高齢者が暮らしやすい手立てを増やしていただければ、安心感が増すと思います。それと同時に、若い世代が住んでみたいと、思える福祉が充実すれば、子育て世代も増えるのでは、と思います。(60代・女性)

○高齢化が進んでいる三浦なので福祉の重要性は理解する。その上で考えても福祉を充実させるためにも支える側のケアも重要。支える側が満されれば福祉も充実するものだと思う。何かを整備すれば見ためは良くなるはずだが、使う側、使われる側の意識が伴わなければいつまでも不満は消えないし、いつまでも整備しつづける事になると思う。啓発も大切だが、現実として目を向けるスキームが必要に感じる。本来三浦の人は支えて、支えられて、コミュニケーションを取る文化に長けていると思っているが、昨今の犯罪や核家族化で他人を信頼する事などが薄れており、思いやる気持ちなどを育む事が重要なのではないかと感じる。上辺だけの福祉では、人は幸せにはならないと思うので、教育や各家族単位での意識向上を含め今後の活動に期待します。(40代・男性)

○三浦市の福祉政策が見えません。計画、施策、進捗状況、現状課題はどうなっていますか。(70代・女性)

○三浦市は高齢者が多く、人口が減っている、その上財政が大変な事を理解しています

が、出来ることなら福祉に優しい町に努力して頂きたいと思います。宜しくお願い致します。(80代・女性)

○三浦市は人口が少ないのだから、もっと一人一人に対して手厚くできるのでは、ないでしょうか。健診などの通知も一切ない。三浦市は自己管理推奨なのですか?人口 11 万人の市でも定期的に健康、福祉に関するものが届いていました。もっと細部にまで目を向けて対応して下さい。三浦市から送られてくる物は、納税通知書とアンケートだけ。自分のことを考えてくれない市のアンケートになど答えたくないというのが正直な気持ちだ。今、市民に何が出来ていないかを他の市を参考に見てみたらどうでしょうか。三浦市民はどうあるべきなんですか。(50代・女性)

○福祉に携わる方は特に、弱者に対して、優しい対応をして頂きたいです。高齢になると、障害を持つと、自分としては、「正しく生きたい、わらないことはきちんと確認したい」と意欲を持っていても、社会的に不利を受けることが多々あります。行政の窓口に行き、おどおどしながら、質問事項を発した時に、何が解らなくて、何を知りたいと欲しているのか洞察して、私が納得できる様に説明してくれる方もおりますが、これはこうです。と知識を一方的に話し、そこが解らないですと返答を言えない状況に追い込まれる時もありました。本当に頭のいい方や深い知識を持たれている方は、難しい事をかみ砕いて、優しく説明できると思います。行政(三浦市)の方は優しい方がたくさんいらっしゃいますが、まれに悲しい思いをします。人は立場が弱いほど敏感になります。人を大切にすることというのは共感の意を相手に伝えることだと思います。あなたの聴きたいこと、気持ちはわかりましたよということをきちんと伝えて支援の手を差し伸べていただけたらうれしいです。三浦市に住んで良かったと、心豊かに生きることができるようみなさんの力をかして下さい。よろしくお願い致します(70代・女性)

○一義的に行政、それも基礎自治体が担うべきである。地域やボランティアに頼るのは責任の放棄だ。人や税収が少なく金がないなら、知恵を出そう、汗をかこう。役所が本気になれば住民もその気になる。観光頼み市外企業頼みばかりでない市民を大事にする市政をお願いします。蛇足こういうアンケートも発布回収などもっと低コストを考えてもよいのでは?もったいないから市庁舎ポストへ投げ込みます。(50代・男性)

○基本的には、個々人の思考と価値観によるもの。幼少期における、家庭教育が最も重要。しかしながら、近年においては、多様な考え方が現実として存在する。余計なお世話という様な考え方。弱者に対しては、ささやかな思いやりが、自然と出来る社会であって欲しい。又、自分自身はなるべく世話にならない様、生きていきたいと思います。(70代・男性)

- 各年代に平等に福祉の恩恵が受けられるようにお願いします。(70代・女性)
- 地域に民生委員さんがいますが、それぞれの民生委員さんの活動が、かなり差がある様に思います。ただ一人でするのは大変だと思いますので地域に2名くらいいて、一緒に行動(活動)出来ればやりやすいのではと思います。(70代・女性)
- みんなが住みやすい町を作ってください。(40代・男性)
- みんなが相手を思いやる文化や風土が育つ三浦市の街づくりに期待します。三浦市の人口減少が進む中、三浦市に人々を集める企画やプログラムの立案等が必要と考えます。(70代・男性)